

新中央図書館整備基本計画  
追補(その1)

2020.2.17

ひたちなか市

## 1 整備候補地

- 現中央図書館は勝田駅を中心とした中心市街地内に位置し、市内全域を対象としたサービスを展開する中央館としての機能を有することから、新中央図書館の整備候補地については、中心市街地または隣接する地域にある市有地を対象に検討してきた。
- 平成 30 年度策定の『新中央図書館整備基本計画』では、4 候補地(候補地 1-A 現況敷地、候補地 1-B 市営元町駐車場敷地、候補地 2 旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地、候補地 3 東石川第四公園グランド敷地)を基本に検討を進めてきたが、このうち現況敷地(候補地 1-A)については、建築可能な最大限の建物で整備したとしても、目標とする施設規模(約 5,500 m<sup>2</sup>)で整備することができないことから、これを除いた以下の 3 つの候補地について、詳細に比較検討することとする。

- 候補地 1-B : 市営元町駐車場敷地
- 候補地 2 : 旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地
- 候補地 3 : 東石川第四公園グランド敷地

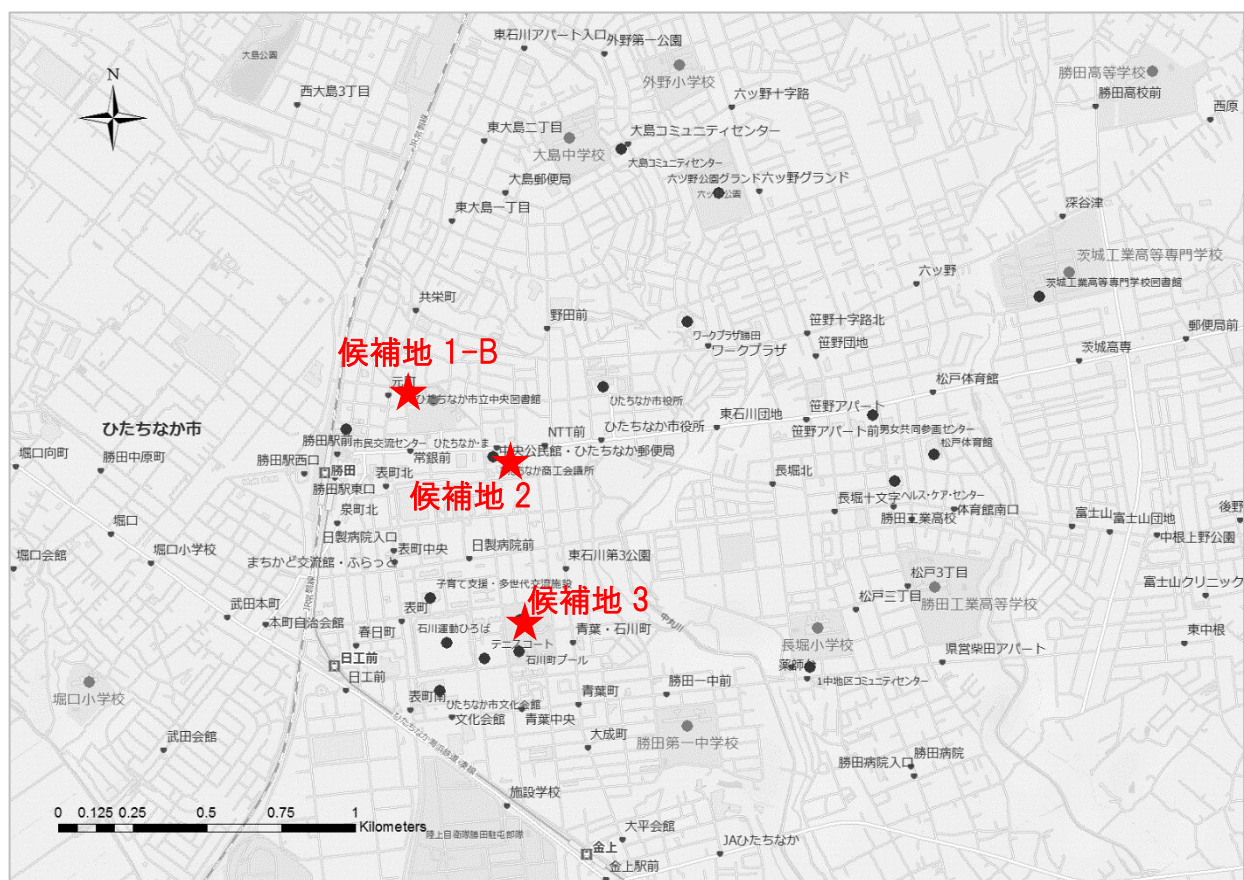


図 1 整備候補地位置図

## 2 整備候補地の概要

表 1 整備候補地の概要

	候補地 1 - B : 市営元町駐車場敷地	候補地 2 : 旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地 3 : 東石川第四公園グランド敷地
<b>(1) 敷地条件</b>			
① 位置	元町 4-4	勝田中央 14-2, 9	石川町 25
② 面積	3,530 m <sup>2</sup> (現中央図書館敷地 (2,293 m <sup>2</sup> ) は駐車場用地)	7,613 m <sup>2</sup>	30,123 m <sup>2</sup> (グランド部分は約 10,000 m <sup>2</sup> )
③ 敷地・既存工作物等	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市営元町駐車場が立地</li> <li>● 隣接して中央図書館が立地</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 29 年秋に移転した青少年センター, 生涯学習センターの跡地。現在は碎石敷の駐車場として活用</li> <li>● 市営勝田中央駐車場及び商工会議所用駐車場は, 通常の駐車場利用の他, ひたちなか祭り本部としても利用</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東石川第四公園 (近隣公園) 内の一部</li> <li>● 野球場 1 面 (内野仕様: 黒土, 外野仕様: 芝), ベンチ, トイレ, 遊具等設備</li> <li>● 敷地内には石川町プール (管理事務所あり) が立地</li> </ul>
④ 地理的現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勝田駅からの道路距離: 約 420m (徒歩 5 分)</li> <li>● 市道 1 - 1 2 号線に面している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勝田駅からの道路距離: 約 600m (徒歩 7 分)</li> <li>● 昭和通りに面している</li> <li>● 区画内に商工会議所, 水戸信用金庫, コミュニティ消防センター (第 1 分団), 勝田中央自治会の防災倉庫がある</li> <li>● 周辺には郵便局, ひたちなか総合病院が立地している</li> <li>● 商業・業務施設が立地している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勝田駅からの道路距離: 約 1,030m (徒歩 13 分)</li> <li>● 幹線道路 (金上田彦線) からは 1 街区西側に位置している</li> <li>● 子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」に近接している</li> <li>● 周辺にはマンションや住宅が多く立地している</li> </ul>
<b>(2) 地域・地区</b>			
① 用途地域 (建ぺい率/容積率)	● 商業地域 (80%/400%)	● 商業地域 (80%/400%)	● 第二種住居地域 (60%/200%) ※都市公園法により, 都市公園内の建築物の建築面積は公園面積の 15% (5% + 教養施設の特例 10%) に制限
② 防火指定	● 準防火地域: 耐火建築物 (1,500 m <sup>2</sup> を超える場合)	● 準防火地域: 耐火建築物 (1,500 m <sup>2</sup> を超える場合)	-
③ 地区計画	-	-	● 石川・青葉地区計画 建築物等の形態又は意匠の制限, 駐車場等の舗装 等

### 3 整備コストの試算

- 平成 31 年 3 月に策定した「新中央図書館整備基本計画」に示した建物配置案に基づいて、標準的な平米単価等によりコストを単純試算した結果は、次ページの「表 3 整備候補地の想定概算事業費」のとおりである。
- 試算にあたり、前提とした平米単価等は以下のとおりである。
  - － 建設工事費(610 千円/㎡) : 近年の事例より(備品込み, 直近事例から免震工事費等を除き, テラスなどの要件を加味した値)
  - － 外構工事費/平面駐車場整備費(30 千円/㎡) : 近年の事例より(複数事例参考, 駐車場等舗装・緑地・排水・フェンス・車路等)
  - － 立体駐車場整備費(120 千円/㎡) : 近年の事例より(直近事例参考)
  - － 基本・実施設計費/監理費: 国土交通省 官庁施設の設計業務等積算基準より
  - － 地質調査等業務委託料: 国土交通省 地質調査積算基準より
  - － 測量費: 見積より
  - － 現図書館解体費(68 千円/㎡) : 直近の市内学校施設事例(アスベスト含有)より

表 2 コスト試算時要件

項目	単位	1-B (立体P)	2 (立体P)	3 (平面P)
延床面積	㎡	5,500	5,500	5,500
外構工事面積	㎡	2,589	3,499	5,701
駐車台数	台	110	210	110
立体駐車場面積	㎡	5,471	9,111	-

- ・ 消費税を 10%と想定
- ・ 同一条件での比較のため、延べ床面積は 5,500 ㎡と設定
- ・ 建設工事費は図書館什器費用込み, ICT導入費用除く
- ・ 立体駐車場は認定立体駐車場を想定
- ・ 立体駐車場面積は屋上分も含む
- ・ 現時点での単純試算による比較であり, 今後の景気の動向や建材価格・労務費の上昇, 詳細条件の検討などにより, 大きく変動する可能性がある

## 4 整備候補地の比較・検討

- これまでの新中央図書館整備基本計画による検討結果や、概算コストの試算を踏まえ、特に重要な要素である立地性、アクセス性、経済性、まちづくりへの影響の4つの観点から比較検討した結果は、次のとおりである。

表 4 整備候補地の比較検討結果

比較検討の観点	候補地 1-B：市営元町駐車場敷地	候補地 2： 旧青少年センター・旧生涯学習センター・ 市営勝田中央駐車場等敷地	候補地 3： 東石川第四公園グランド敷地																														
I 立地性（立地上の特性）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 敷地面積は 3,530 m<sup>2</sup>と最も狭く、必要な機能は3層構造で確保される。建物を配置したときの敷地面積の余裕がほとんどない。</li> <li>● 駐車場は現中央図書館の敷地において設置することとなるため、建設に着手できるのは現図書館の解体撤去の後となる。駐車場の現有台数分（110台）を確保するためには、立体駐車場の整備が必要であり、出入口が狭い道路に面して設置されることや、市営駐車場の機能確保に検討を要する。</li> <li>● 商業地域に位置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 敷地面積は 7,613 m<sup>2</sup>で、候補地の中で2番目に広い。必要な機能は3層構造で確保され、建物を配置したとき、敷地面積にある程度の余裕がある。</li> <li>● 商工会議所の利用台数（100台）を維持しながら図書館の駐車場を整備（計 210台）するためには、<u>立体駐車場の整備が必要</u>である。</li> <li>● 商業地域に位置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 敷地面積は 30,123 m<sup>2</sup>（グランド部分は約 10,000 m<sup>2</sup>）と、候補地の中で最も広く、必要な機能は2層構造で確保される。建物、駐車場ともに余裕ある配置が可能である。</li> <li>● 駐車場は、必要台数（110台）を<u>平面で確保</u>することができる。</li> <li>● 公園内の自然環境を活かしながら、<u>静かな空間の中で読書環境を創出</u>することができる。</li> <li>● 第二種住居地域に位置している都市計画公園である。</li> </ul>																														
II アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勝田駅からの道路距離は約 420mであり、駅からの距離は最も近い。自家用車でアクセスする場合には、駐車場の出入口となる道路が狭隘であり、立体駐車場への進入などに、工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勝田駅からの道路距離は約 600mであり、現中央図書館と大きく変わらない距離である。</li> <li>● 幹線道路（昭和通り線）に面しており、路線バスが運行している。市内全域から自家用車でアクセスが容易であるが、立体駐車場への進入などに、工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勝田駅からの道路距離は約 1,030mであり、駅からの距離は最も遠い。</li> <li>● 幹線道路から少し離れたわかりにくい場所であるが、市内全域からの自家用車でアクセスは容易である。余裕ある敷地面積が確保できることにより、車両等の来訪についてもより安全性の高い配置が可能である。</li> </ul>																														
III 経済性（整備コスト） R2.2 現在算定 ※現時点での単純試算による比較であり、今後の景気の動向や建材価格・労務費の上昇、詳細条件の検討などにより、大きく変動する可能性がある	<p>&lt;想定概算コスト&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新中央図書館整備費</td> <td>約 3,714 百万円</td> </tr> <tr> <td>立体駐車場整備費</td> <td>約 657 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費</td> <td>約 137 百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約 4,508 百万円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	費用	新中央図書館整備費	約 3,714 百万円	立体駐車場整備費	約 657 百万円	その他費	約 137 百万円	合計	約 4,508 百万円	<p>&lt;想定概算コスト&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新中央図書館整備費</td> <td>約 3,750 百万円</td> </tr> <tr> <td>立体駐車場整備費 (商工会議所分を除く)</td> <td>約 657 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費</td> <td>約 11 百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約 4,418 百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※立体駐車場整備費は、商工会議所の駐車台数分の費用（437百万円）を除いた金額となっている。</p>	項目	費用	新中央図書館整備費	約 3,750 百万円	立体駐車場整備費 (商工会議所分を除く)	約 657 百万円	その他費	約 11 百万円	合計	約 4,418 百万円	<p>&lt;想定概算コスト&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新中央図書館整備費</td> <td>約 3,608 百万円</td> </tr> <tr> <td>平面駐車場整備費 (外構工事費も含む)</td> <td>約 172 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費</td> <td>約 12 百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約 3,792 百万円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	費用	新中央図書館整備費	約 3,608 百万円	平面駐車場整備費 (外構工事費も含む)	約 172 百万円	その他費	約 12 百万円	合計	約 3,792 百万円
項目	費用																																
新中央図書館整備費	約 3,714 百万円																																
立体駐車場整備費	約 657 百万円																																
その他費	約 137 百万円																																
合計	約 4,508 百万円																																
項目	費用																																
新中央図書館整備費	約 3,750 百万円																																
立体駐車場整備費 (商工会議所分を除く)	約 657 百万円																																
その他費	約 11 百万円																																
合計	約 4,418 百万円																																
項目	費用																																
新中央図書館整備費	約 3,608 百万円																																
平面駐車場整備費 (外構工事費も含む)	約 172 百万円																																
その他費	約 12 百万円																																
合計	約 3,792 百万円																																
IV まちづくりへの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市営元町駐車場の機能を確保しつつ整備する場合、中央図書館の閉館期間が長期間にわたる。</li> <li>● 日常的に交通量の多い道路に面していることから、周辺道路の交通渋滞の助長や交通安全の確保などが懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当該敷地は、中心市街地の中で昭和通りに面した貴重な空間であり、ひたちなか祭りの本部運営などのイベントに影響を与えるおそれがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東石川第四公園グランドの利用者に影響が生じる。</li> </ul>																														

## ◎比較・検討のまとめ

- 以上のように、立地性、アクセス性、経済性、まちづくりへの影響の4つの観点から比較検討した結果、3候補地はそれぞれに特徴や課題を有しているが、魅力的でゆとりある図書館を整備するためには、まずは、敷地面積そのものにある程度の余裕を有していることが望まれる。
  - また、3候補地ともに、勝田駅からの距離は、徒歩でのアクセスが可能な1km圏内に位置しているが、自家用車での来館が75%をしめる本市の状況を考えると、自家用車によるアクセスの利便性や安全性を重視しながら、徒歩や自転車、公共交通など市内全域からの様々な方法によるアクセスのしやすさを総合的に勘案する必要がある。
  - 3候補地のうち、「候補地1-B:市営元町駐車場敷地」は、勝田駅からの距離は最も近いものの、建物を配置したとき、敷地面積に余裕がほとんどなく、狭い道路から立体駐車場に進入する際の安全性が懸念されるほか、駅前の交通量の多い主要道路に面することから、交通渋滞の誘引や、来館者の安全性の確保も懸念される。また、現中央図書館を解体した後に立体駐車場を整備することとなることから、整備期間や図書館休館期間が長期にわたることとなる。
- ◎以上のことから、敷地面積にある程度の余裕を有しており、さらに市内各所から様々な手段で安全・便利に来訪することができるアクセス性などに総合的に優れる「候補地2:旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地」と「候補地3:東石川第四公園グランド敷地」の2つを候補地として、さらに詳細な検討をすることとした。

## 5 新候補地の追加

- 立地場所は、魅力的な図書館を建設する上で非常に重要な要素であるが、これまで検討してきた候補地については、それぞれ一長一短の特性や課題もあることから、市有地以外にも選択肢を広げて、整備地にふさわしい敷地がないかどうかという検討も合わせて行ってきた。
- このような中、平成30年7月にオープンした親水性中央公園については、昭和通りに近接した環境にありながら、昭和通りからの利用がしにくいということが課題となっており、昭和通りに面して図書館を整備し、図書館を玄関口として公園へのアクセスを容易にし、公園と図書館の一体的な活用や、相互の利用促進を図ることが可能となるのではないかという観点から、新たな候補地として、「親水性中央公園の隣接地」を加えることとした。

- 候補地2：旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地
- 候補地3：東石川第四公園グランド敷地
- 候補地4：親水性中央公園等敷地

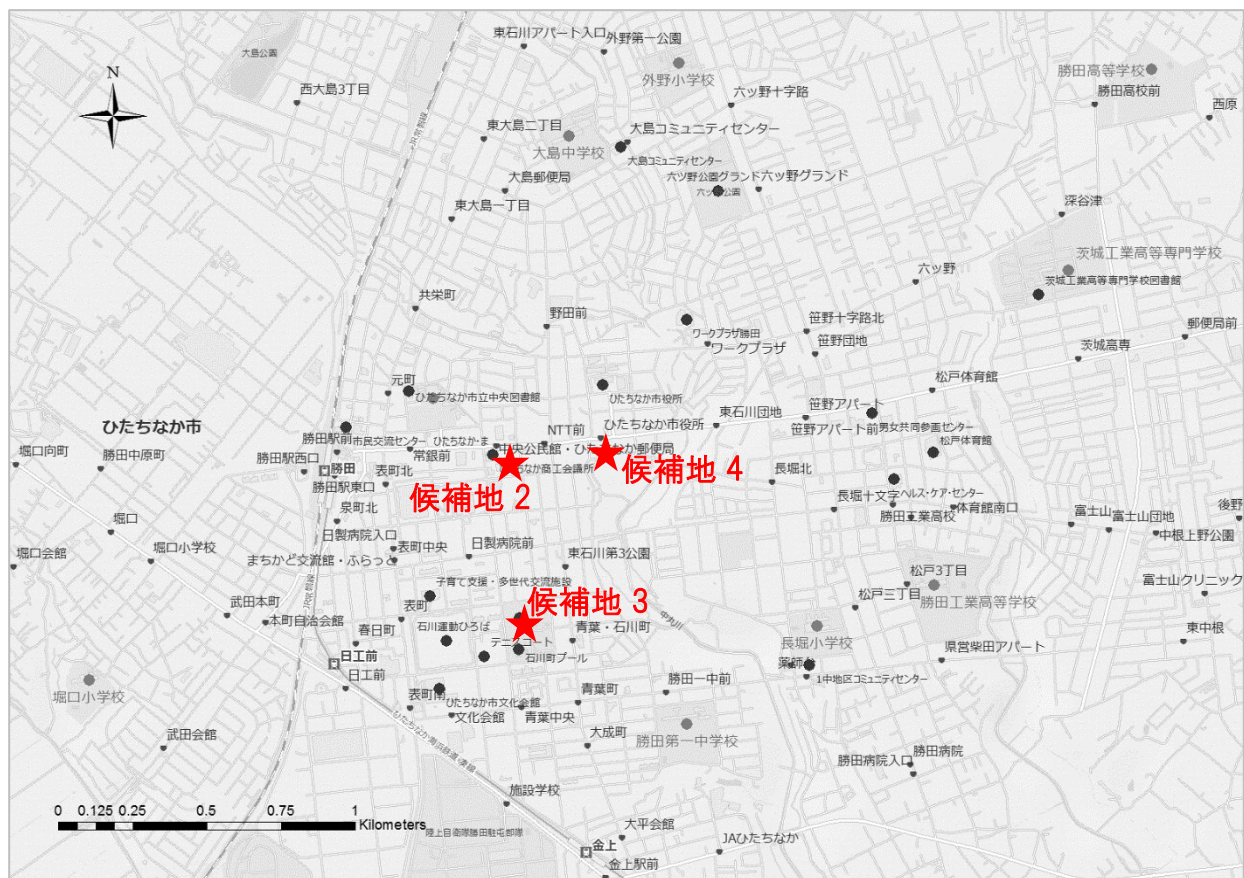


図2 整備候補地位置図（新候補地含む）

表 5 整備候補地の概要と整備の想定

< 参考資料 >

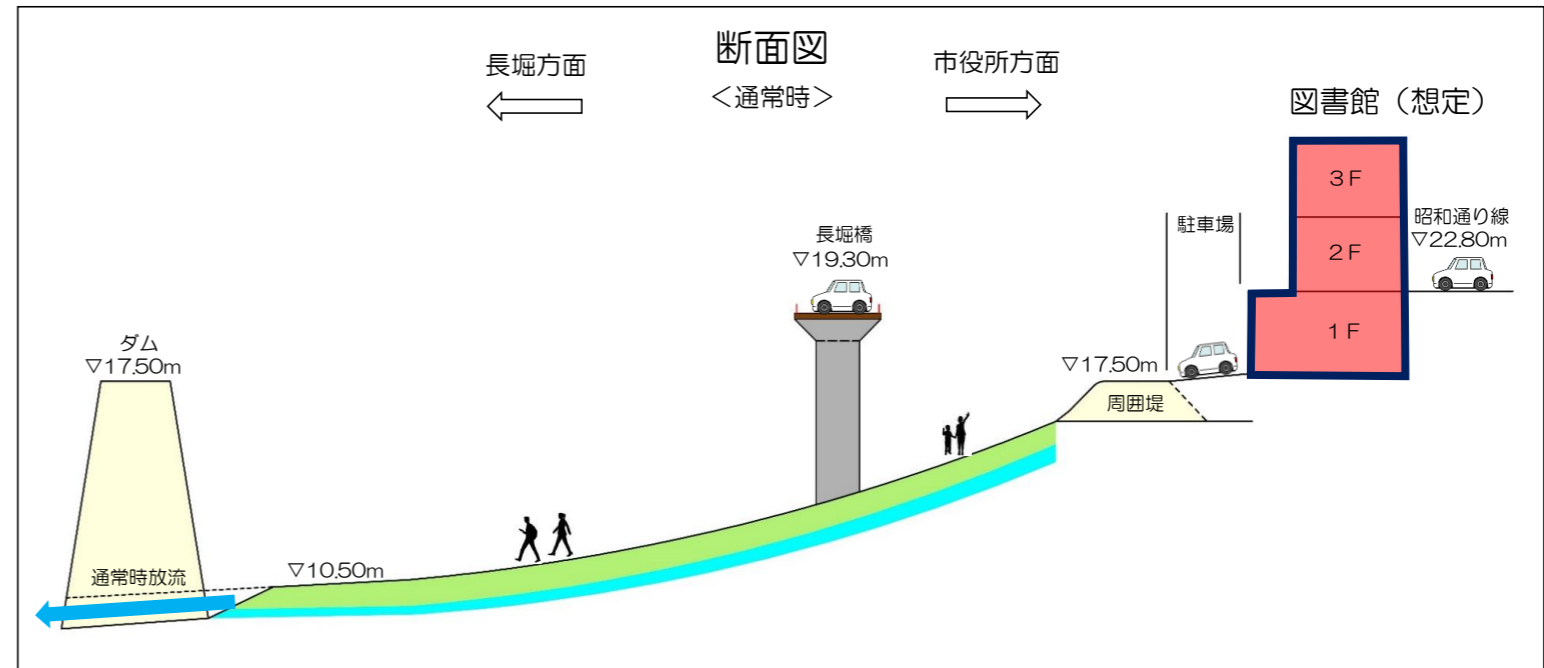
### 親水性中央公園等敷地及び多目的遊水地の概要図





<参考資料 親水性中央公園の概要>

親水性中央公園は、河川敷を利用した公園としてだけでなく、大雨の時には洪水を防ぐダムになるという役割があります。

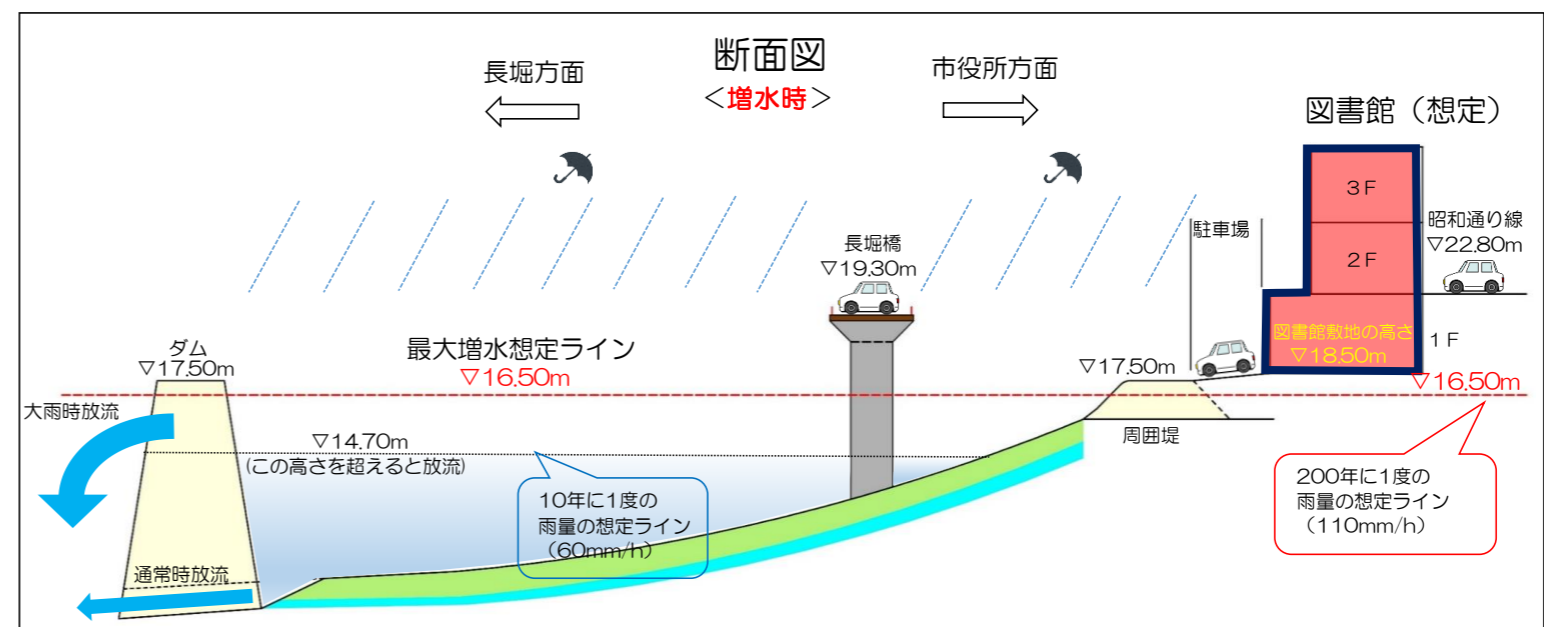


- 最大増水想定ライン ( $\nabla 16.5\text{m}$ ) は、200年に一度の雨量 (110mm/h) を想定しています。10年に一度の雨量 (60mm/h) を想定したライン ( $\nabla 14.7\text{m}$ ) を超えると、ダムから下流に放流することとしています。

- ダムは、最大増水想定ラインより、1m高く建設 ( $\nabla 17.5\text{m}$ ) されており、図書館敷地南側を囲む周田堤もダムと同じ高さ ( $\nabla 17.5\text{m}$ ) で整備することとしています。図書館候補地の敷地は、これよりさらに1m以上高くなることを想定 ( $\nabla 18.5\text{m}$ ) しており、浸水エリアの範囲外であることから、図書館候補地が浸水することはありません。

最大増水想定ライン ( $\nabla 16.50\text{m}$  (海拔16.5m))  
 : 200m年に一度の雨量 (110mm/h) を想定した高さ

$\nabla$  (海拔): 東京湾の平均海面を0mとしたときの高さを表しています。



## 7 整備コストの試算（新候補地含む）

- 「3 整備コストの試算」の結果に新候補地を追加し、同様に標準的な平米単価等によりコストを単純試算した結果は、次ページの「表 7 概算事業費（新候補地含む）」のとおりである。
- 試算にあたり、前提とした平米単価等は以下のとおりである。
  - －建設工事費 (610 千円/㎡) : 近年の事例より(備品込み, 直近事例から免震工事費等を除き, テラスなどの要件を加味した値)
  - －建設工事費 (630 千円/㎡) : 近年の事例より(上記 610 千円/㎡に山留工事に係る費用を加味した値)
  - －外構工事費/平面駐車場整備費 (30 千円/㎡) : 近年の事例より(複数事例参考, 駐車場等舗装・緑地・排水・フェンス・車路等)
  - －立体駐車場整備費 (120 千円/㎡) : 近年の事例より(直近事例参考)
  - －外構工事費特殊要件: 近年の事例より(車路スロープ, 車寄せ, 大階段, 既存擁壁撤去等)
  - －基本・実施設計費/監理費: 国土交通省 官庁施設の設計業務等積算基準より
  - －地質調査等業務委託料: 国土交通省 地質調査積算基準より
  - －測量費: 見積より
  - －用地購入費: 不動産鑑定評価より

表 6 コスト試算時要件（新候補地含む）

項目	単位	2（立体P）	3（平面P）	4（平面P）
延床面積	㎡	5,500	5,500	5,500
外構工事面積	㎡	3,499	5,701	6,050
駐車台数	台	210	110	110
立体駐車場面積	㎡	9,111	-	-

- ・消費税を 10% と想定
- ・同一条件での比較のため、延べ床面積は 5,500 ㎡ と設定
- ・建設工事費は図書館什器費用込み, ICT 導入費用除く
- ・立体駐車場は認定立体駐車場を想定
- ・立体駐車場面積は屋上分も含む
- ・現時点での単純試算による比較であり, 今後の景気の動向や建材価格・労務費の上昇, 詳細条件の検討などにより, 大きく変動する可能性がある

## 8 整備候補地の比較・検討（詳細評価）

- 候補地 2 の「旧青少年センター、旧生涯学習センター等敷地」、候補地 3 の「東石川第四公園グランド敷地」、候補地 4 の「親水性中央公園等敷地」の 3 か所について詳細に比較検討するにあたり、立地性、アクセス性、経済性、まちづくりへの影響の 4 つの比較検討の観点を中心に細分化した 10 の評価項目について検討することとする。
- 3 候補地の中から、総合的に最も優れた候補地を選定することが目的であることから、3 つの候補地について、それぞれの評価項目ごとに相対的に個別評価し、全体を集約することとする。
- 評価の仕方については、それぞれの評価項目において最も優れていると考えられる候補地を A (5 点) とし、他の候補地については、最も優れている候補地との優位性の度合いに応じて A (5 点)、A' (4 点)、B (3 点)、B' (2 点)、C (1 点) の評価を付すこととする。

表 8 整備候補地の比較検討結果（詳細評価）

評価項目	評価の視点	候補地 2：旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地 3：東石川第四公園グランド敷地	候補地 4：親水性中央公園等敷地	評価の内容	
I 立地性	①敷地規模	建物や駐車場のレイアウトを踏まえ、敷地面積の確保度合いや、設計の自由度の高さ等に資するゆとりあるスペースの確保を評価する。	<b>B (3)</b> ● 敷地面積は 7,613 m <sup>2</sup> と、候補地の中で最も狭い。必要な機能は 3 階建てで確保され、建物を配置したとき、敷地面積にある程度の余裕がある。	<b>A (5)</b> ● 敷地面積は 30,123 m <sup>2</sup> （グランド部分は 10,000 m <sup>2</sup> ）と、候補地の中で最も広い。必要な機能は 2 階建てで確保され、建物、駐車場ともに余裕ある配置が可能である。	<b>A' (4)</b> ● 敷地面積は 8,100 m <sup>2</sup> で候補地 2 より広く、候補地 3 より狭いが、隣接する広大な公園との一体的な活用が可能である。必要な機能は 3 階建てで確保され、建物を配置したとき、敷地面積にある程度の余裕がある。	敷地面積が最も広い「候補地 3」を A 評価とし、広大な公園との一体的な活用が可能である「候補地 4」を A' 評価、敷地面積が最も狭い「候補地 2」を B 評価とした。
	②立地上の特性	それぞれの立地ならではの環境や空間を生かした図書館施設の特色の創出を評価する。	<b>A' (4)</b> ● 昭和通りに面した便利な場所に位置しており、周辺には商工会議所、ひたちなか総合病院、郵便局が立地し、利便性の高い公共エリアの構築や、図書館機能との連携が期待できる。	<b>A' (4)</b> ● 公園の自然環境を活かしながら、静かな空間の中で読書環境を創出することができる。周辺に立地する子育て支援・多世代交流施設と図書館機能との連携が期待できる。	<b>A (5)</b> ● 昭和通りに面した便利な場所に位置しており、周辺には市役所や警察署が立地し、利便性の高い公共エリアの構築が期待できるとともに、広大な公園に面した自然環境を活かしながら、図書館機能との連携や、静かな空間の中で読書環境を創出することができる。	3 候補地ともに、それぞれの特色を活かした整備が可能であるが、「候補地 4」は、候補地 2 の利便性の高い公共エリアの構築と、候補地 3 の自然環境を活かした読書環境の創出の双方の特色を併せ持つ立地であることから、A 評価とした。
	③立地地域の周辺環境	それぞれの場所に整備した場合の周辺環境等に与える影響を評価する。	<b>B' (2)</b> ● 商業地域に位置している。立体駐車場を敷地の南側に配置することとなることから、ひたちなか郵便局への動線と交錯することとなり、交通渋滞の増大や交通安全性の確保などが懸念される。	<b>B' (2)</b> ● 第二種住居地域に位置していることから、周辺にはマンションや住宅が多く立地しており、主に近隣住民の利用に供するための施設である近隣公園内に、市内全域から多くの利用者が集まる図書館施設を整備することは、近隣住民の生活に影響を与えることが考えられることから、プライバシーの確保等を含めた配慮が必要である。	<b>A (5)</b> ● 近隣商業地域に位置している。市内全域からの利用に供する総合公園として整備された親水性中央公園の利用について、昭和通りからのアクセスを容易にすることができる。	周辺道路の交通環境に影響を与える懸念がある「候補地 2」と、周辺住民への配慮が必要となる「候補地 3」を B' 評価とし、交通環境への懸念や近隣住民への影響が少なく周辺施設の利便性向上が期待できる「候補地 4」を A 評価とした。
	④駐車場の規模及び形状	余裕をもって必要台数を確保することが可能か、利用者にとって利用しやすい駐車場となるかを評価する。	<b>C (1)</b> ● 商工会議所の利用台数（100 台）を確保する必要があり、図書館の必要台数を含めた駐車場（210 台）を整備するためには、立体駐車場の整備が必要である。	<b>A (5)</b> ● 駐車場は、必要台数（110 台）を平面で余裕をもって確保することができる。	<b>A' (4)</b> ● 駐車場は、必要台数（110 台）を平面で確保することができる。	必要台数を平面で余裕をもって確保できる「候補地 3」を A 評価とし、必要台数を平面で確保できる「候補地 4」を A' 評価とした。立体駐車場は、バリアフリーの確保や利便性、景観などの点で、平面駐車場に比して優位性が大きく劣ることから、「候補地 2」は C 評価とした。

評価項目		評価の視点	候補地2：旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地3：東石川第四公園グランド敷地	候補地4：親水性中央公園等敷地	評価の内容																																	
Ⅱ アクセシビリティ	⑤徒歩・自転車等によるアクセス	徒歩・自転車等によるアクセスのしやすさ、安全性について評価する。	<p><b>A (5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勝田駅から約600mと、現中央図書館と大きく変わらない距離であり、幹線道路（昭和通り）に面したわかりやすい場所にある。歩道や自転車道が整備された昭和通りから安全にアクセスすることができる。</li> </ul>	<p><b>A' (4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勝田駅からの距離は約1,030mであり徒歩圏内ではあるが、駅からの距離は最も遠く、歩道が整備された道路からアクセスできるものの、自転車道は整備されていない。</li> </ul>	<p><b>A (5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勝田駅からの距離は約890mと徒歩圏内であり、幹線道路（昭和通り）に面したわかりやすい場所にある。歩道や自転車道が整備された昭和通りから安全にアクセスすることができる。宅地化が進んでいる親水性中央公園南側の市街地側からも、公園を介して安全にアクセスすることができる。</li> </ul>	わかりやすい場所にあり、歩道や自転車道が整備された昭和通りから安全にアクセスできる「候補地2」と「候補地4」をA評価とし、勝田駅からの距離が最も遠く自転車道が整備されていない「候補地3」をA'評価とした。																																	
	⑥公共交通によるアクセス	路線バスによるアクセスのしやすさを評価する。スマイルあおぞらバスについては、どの候補地においても路線変更が可能のため評価対象としない。	<p><b>A' (4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地沿いの幹線道路に路線バスが1日47本（平日）運行しており、停留所（NTT前）が近くに設置されている。</li> </ul>	<p><b>B (3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徒歩でのアクセスが可能な範囲に停留所（表町）が設置されているが、1日17本（平日）の運行であり、敷地沿いの道路に路線バスは運行しておらず停留所もない。</li> </ul>	<p><b>A (5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地沿いの幹線道路に路線バスが1日47本（平日）運行しており、停留所（ひたちなか市役所）が敷地前に設置されている。</li> </ul>	路線バスが運行しており停留所が至近である「候補地4」をA評価とし、停留所がやや離れる「候補地2」をA'評価とした。敷地沿いに路線バスの運行がない「候補地3」はB評価とした。																																	
	⑦自家用車によるアクセス	自家用車によるアクセスのしやすさ、安全性について評価する。	<p><b>B (3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内全域からの自家用車でのアクセスが容易であるが、車の出入りが多いひたちなか郵便局に近いことから、立体駐車場への進入のしやすさや、安全性の確保が懸念される。</li> </ul>	<p><b>A (5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内全域からの自家用車でのアクセスが容易であり、余裕ある敷地面積が確保できることから、安全性の高い車両進入や駐車場配置が可能である。</li> </ul>	<p><b>A' (4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内全域からの自家用車でのアクセスが容易であるが、アクセス道路となる昭和通りから駐車場用地まで高低差があることから、車両動線などに工夫が必要である。</li> </ul>	安全性の高い車両進入や駐車場配置が可能である「候補地3」をA評価とし、車両動線などに工夫が必要である「候補地4」をA'評価、安全性の確保に懸念がある「候補地2」をB評価とした。																																	
Ⅲ 経済性	<p>経済性（整備コスト）</p> <p>※資料作成時点での単純試算による比較であり、今後の景気の動向や建材価格・労務費の上昇、詳細条件の検討などにより、大きく変動する可能性がある</p>	<p>整備に必要と想定される事業費について評価する。</p> <p><b>B (3)</b></p> <p>44億1,800万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新中央図書館整備費</td> <td>約3,750百万円</td> </tr> <tr> <td>立体駐車場整備費（商工会議所分を除く）</td> <td>約657百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費</td> <td>約11百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約4,418百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※立体駐車場整備費は、商工会議所の駐車台数分の費用（437百万円）を除いた金額となっている。</p>	項目	費用	新中央図書館整備費	約3,750百万円	立体駐車場整備費（商工会議所分を除く）	約657百万円	その他費	約11百万円	合計	約4,418百万円	<p><b>A (5)</b></p> <p>37億9,200万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新中央図書館整備費</td> <td>約3,608百万円</td> </tr> <tr> <td>平面駐車場整備費（外構工事費含む）</td> <td>約172百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費</td> <td>約12百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約3,792百万円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	費用	新中央図書館整備費	約3,608百万円	平面駐車場整備費（外構工事費含む）	約172百万円	その他費	約12百万円	合計	約3,792百万円	<p><b>B (3)</b></p> <p>44億9,800万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新中央図書館整備費</td> <td>約3,875百万円</td> </tr> <tr> <td>平面駐車場整備費（外構工事費含む）</td> <td>約182百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費</td> <td>約11百万円</td> </tr> <tr> <td>用地購入費</td> <td>約330百万円</td> </tr> <tr> <td>移転補償料</td> <td>約100百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約4,498百万円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	費用	新中央図書館整備費	約3,875百万円	平面駐車場整備費（外構工事費含む）	約182百万円	その他費	約11百万円	用地購入費	約330百万円	移転補償料	約100百万円	合計	約4,498百万円	整備費用が最小の「候補地3」をA評価とし、優位性の状況から「候補地2」と「候補地4」をB評価とした。
項目	費用																																						
新中央図書館整備費	約3,750百万円																																						
立体駐車場整備費（商工会議所分を除く）	約657百万円																																						
その他費	約11百万円																																						
合計	約4,418百万円																																						
項目	費用																																						
新中央図書館整備費	約3,608百万円																																						
平面駐車場整備費（外構工事費含む）	約172百万円																																						
その他費	約12百万円																																						
合計	約3,792百万円																																						
項目	費用																																						
新中央図書館整備費	約3,875百万円																																						
平面駐車場整備費（外構工事費含む）	約182百万円																																						
その他費	約11百万円																																						
用地購入費	約330百万円																																						
移転補償料	約100百万円																																						
合計	約4,498百万円																																						

評価項目	評価の視点	候補地 2：旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地 3：東石川第四公園グランド敷地	候補地 4：親水性中央公園等敷地	評価の内容	
IV まちづくりへの影響	㉞ 既存機能、利用者等への影響	現在のまちづくりにおける公共的機能の維持や、利活用に生じる影響について評価する。	<b>B (3)</b> ● 中心市街地において昭和通りに面した貴重な公共空間であり、ひたちなか祭りの本部運営などのイベントに影響を与えるおそれがある。	<b>B' (2)</b> ● 東石川第四公園グランドについては、年間およそ 4,000 人の市民がスポーツ大会や少年団活動、野球、グラウンドゴルフなどに年間を通じて利用しており、利用者のスポーツ活動の継続性に大きな影響が生じる。	<b>A (5)</b> ● 現況は民有地であり、公共利用がされていないことから公共的機能の維持等について懸念される影響はないと考えられ、親水性中央公園の昭和通りからのアクセスが容易になることから、公園利用者の利便性向上と利用促進が期待できる。	公共的利活用に懸念される影響が生じない「候補地 4」を A 評価とし、ひたちなか祭りなど一時的なイベント等に影響を与えるおそれのある「候補地 2」を B 評価、年間を通して市民活動に影響が生じる「候補地 3」を B' 評価とした。
	㉟ 中心市街地における回遊性、賑わいの創出	中心市街地における人の流れや活性化、賑わいの創出への寄与について評価する。	<b>A (5)</b> ● 昭和通りに沿って、勝田駅から商業・業務地区と続くエリアに人の流れを生み出し、中心市街地にさらなる賑わいを創出することが期待できる。	<b>A' (4)</b> ● 中心市街地の中心地からはやや離れた、メイン通りに面していない場所に位置しているが、中心市街地にさらなる賑わいを創出することが期待できる。	<b>A (5)</b> ● 昭和通りに沿って、勝田駅から商業・業務地区、市役所と続くエリアに人の流れを生み出し、中心市街地にさらなる賑わいを創出することが期待できる。	3 候補地ともに中心市街地にさらなる賑わいを創出することが期待できるが、市のシンボルロードである昭和通り沿いのわかりやすい場所に立地する「候補地 2」と「候補地 4」を A 評価とし、やや離れた「候補地 3」を A' 評価とした。
項目の数	A	5点	2	4	6	
	A'	4点	2	3	3	
	B	3点	4	1	1	
	B'	2点	1	2	0	
	C	1点	1	0	0	
評価点	I 立地性 (4項目 20点)	10点	16点	18点		
	II アクセシ性 (3項目 15点)	12点	12点	14点		
	III 経済性 (1項目 5点)	3点	5点	3点		
	IV まちづくりへの影響 (2項目 10点)	8点	6点	10点		
	合計 (全 10 項目 50 点)	33点	39点	45点		

● 新候補地を含めた整備候補地について、立地性、アクセシ性、経済性、まちづくりへの影響の4つの観点別に集約した結果は、以下のとおりである。

I 立地性:敷地規模、立地上の特性や周辺への影響、駐車場の規模・形状など、立地性の観点からの評価項目を集約した結果は、20点中、候補地 2 が 10 点、候補地 3 が 16 点、候補地 4 が 18 点となった。

II アクセシ性:徒歩・自転車、公共交通、自家用車のアクセスのしやすさや安全性の観点からの評価項目を集約した結果は、15点中、候補地 2 が 12 点、候補地 3 が 12 点、候補地 4 が 14 点となった。

III 経済性:整備に必要と想定される事業費の観点からの評価項目を集約した結果は、5点中、候補地 2 が 3 点、候補地 3 が 5 点、候補地 4 が 3 点となった。

IV まちづくりへの影響:公共的機能や現況利用者への影響、中心市街地における賑わいの創出などまちづくりの観点からの評価項目を集約した結果は、10点中、候補地 2 が 8 点、候補地 3 が 6 点、候補地 4 が 10 点となった。

● 全体を集約した結果は、50点中、候補地 2 が 33 点、候補地 3 が 39 点、候補地 4 が 45 点となった。

● 各項目について優位性が高いと考えられる A または A' の数は、候補地 2 が 4 項目、候補地 3 が 7 項目、候補地 4 が 9 項目となった。B または B' の数は、候補地 2 が 5 項目、候補地 3 が 3 項目、候補地 4 が 1 項目となり、C は候補地 2 のみ 1 項目であった。

◎4 つのそれぞれの観点ごとの評価の状況、全体的な評価の状況、A から C までの評価段階のバランスなどを総合的に勘案すると、候補地 4 の「親水性中央公園等敷地」が、新中央図書館の整備地として最も高く評価することができるものと考えられる。

新中央図書館整備基本計画  
追補(その2)

2022.12.17

ひたちなか市

## 【1】 収蔵冊数

### (1) これまでの収蔵冊数の算定

収蔵冊数の算定については、「中央図書館整備調査報告書」(H30.3)において、次の2つの方法で検討を行っています。

1 つは、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を用いたもので、都市の人口規模段階別の蔵書冊数から、市全体での蔵書規模(=必要規模)を算出し、そこから地域館(那珂湊館と佐野館)の蔵書冊数を差し引き、中央館の蔵書規模を算出しています。

もう1 つは、『地域館の数や規模に関わらず中央館は自治体全人口を対象とした規模を有する』との考えのもと、地域館の蔵書冊数は考慮せずに、他自治体の中央館の蔵書冊数だけを用いて新中央図書館の蔵書規模を算出しています。(比較対象にした他自治体の中央館は、県内30市及び類似団体のうち築20年未満の中央館。)

この方法により算出された蔵書規模の幅の中から新中央図書館の収蔵冊数を約50万冊としました。

### (2) 蔵書(および収蔵冊数算定)方針の見直し

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で厳しさを増す市の財政状況や社会情勢の急激な変化などから、施設規模や整備コストを見直す必要が生じ、今後は、限られた予算の中でより効率的な蔵書を行うことが必要となっています。

このため、『地域館の蔵書冊数に関係なく中央館だけで必要資料を揃えることを前提とした蔵書規模』とするのではなく、『地域館も含めた市立図書館全体で蔵書する』ことを前提とし、中央図書館の蔵書規模を見直すとともに、建設コストについても削減を図ることとしました。

なお、実際の図書館運営においても、貸出可能な資料は、市内のどの館からでも貸出・返却ができるなど、中央館と地域館は連携して運営を行っています。また、「公立図書館の任務と目標」によれば、図書館施設は有機的に結ばれた組織体である「図書館システム」として機能していくこととされており、組織全体で(中央館、地域館全体で)蔵書を行うことについても矛盾はないものと考えています。

また、電子図書館についても、新中央図書館の整備と並行して導入を図ってまいります。

### (3) 収蔵冊数の再算定

(2)の考え方に基づいて、次のとおり蔵書規模を再算定し精査を行いました。

調査報告書における算定でも用いてきた「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」による算定は、地域館も含めた市立図書館全体の蔵書規模から中央館の蔵書規模が算定される計算方式となっていることから、今回の再算定でも用いることとし、以前の算定から時点更新を行いました。(下記①)

他自治体(類似団体及び県内自治体)中央館の整備水準に基づく算定は、中央館の整備水準だけに着目するのではなく、自治体全体に必要な蔵書規模を算定し、そこから中央館の蔵書規模を算出する算定方法に改めました。(下記②, ③)

### (4)蔵書規模の再算定結果

番号	区分	人口1人当り 蔵書数(冊/人)	人口(人) <sup>※1</sup>	蔵書規模(=必要規模)	
				市全体で必要 な蔵書数(冊)	中央館で必要 な蔵書数(冊) <sup>※2</sup>
①	望ましい基準	4.27	158,015	674,724	435,097
②	類似団体(18市)	3.75		592,556	352,929
③	県内自治体(30市)	3.85		608,357	368,730

 …資料①(P3)より       …資料②(P4)より

※1 人口は令和3年1月1日現在の住民基本台帳人口です。

※2 中央図書館で必要な蔵書数は、市全体で必要な蔵書数から、佐野図書館及び那珂湊図書館の蔵書冊数(合計239,627冊)を差し引いたものです。蔵書数は、令和3年3月31日現在の蔵書数です。(令和3年度「茨城の図書館」より引用しています。)

#### 新中央図書館の収蔵冊数

再算定の結果、新中央図書館で必要な蔵書数は、約352千冊～約435千冊となりました。  
この結果を踏まえ、新中央図書館の収蔵冊数は約400千冊とします。



## 類似団体 18 市の整備水準

人口:住基人口(R3.1.1 現在)

蔵書数:日本の図書館 2021(R3.4.1 現在)

番号	自治体名	人口	蔵書数	1人当り冊数 (端数四捨五入)
1	市原市	273,771	712,000	2.60
2	鈴鹿市	199,091	350,000	1.76
3	安城市	190,143	785,000	4.13
4	東広島市	189,369	728,000	3.84
5	豊川市	186,783	753,000	4.03
6	日立市	175,366	795,000	4.53
7	出雲市	174,684	733,000	4.20
8	西尾市	171,423	745,000	4.35
9	磐田市	169,274	663,000	3.92
10	高岡市	168,956	627,000	3.71
11	小山市	167,888	564,000	3.36
12	松阪市	161,998	427,000	2.64
13	大垣市	160,794	454,000	2.82
14	栃木市	158,397	702,000	4.43
15	今治市	156,254	703,000	4.50
16	上田市	155,595	593,000	3.81
17	刈谷市	152,598	888,000	5.82
18	小牧市	152,249	475,000	3.12
平均				3.75

## 県内30市の整備水準

人口：住基人口(R3.1.1現在)

冊数：R3茨城の図書館(R3.3.31現在)

No.	自治体名	人口	冊数	中央館のみ の人口1人当 り冊数	全体 館数	他館冊数					全館(地域館 含む)の人口 1人当り冊数
	ひたちなか	158,015	246,375	1.559	3	92,852	146,775				3.076
1	水戸	271,380	445,639	1.642	6	112,950	105,703	156,017	71,448	89,297	3.615
2	つくば	241,809	291,324	1.205							1.205
3	日立	175,366	449,399	2.563	4	136,497	105,987	105,181			4.545
4	古河	142,260	128,576	0.904	2	153,372					1.982
5	土浦	141,371	455,597	3.223							3.223
6	取手	107,236	211,039	1.968	2	146,845					3.337
7	筑西	103,243	260,889	2.527	2	105,621					3.550
8	神栖	95,537	383,517	4.014	2	73,172					4.780
9	牛久	84,868	307,427	3.622							3.622
10	龍ヶ崎	76,590	243,196	3.175							3.175
11	笠間	74,984	224,739	2.997	3	240,684	77,618				7.242
12	石岡	73,649	203,858	2.768							2.768
13	鹿嶋	67,416	196,596	2.916							2.916
14	常総	62,570	137,966	2.205							2.205
15	守谷	69,392	432,197	6.228							6.228
16	坂東	53,550	132,897	2.482	2	111,177					4.558
17	那珂	54,440	213,199	3.916							3.916
18	常陸太田	50,278	248,098	4.935							4.935
19	小美玉	50,250	76,671	1.526	2	44,897					2.419
20	結城	51,266	278,078	5.424							5.424
21	鉾田	48,160	85,499	1.775							1.775
22	つくばみらい	52,110	195,153	3.745							3.745
23	北茨城	42,651	172,403	4.042							4.042
24	下妻	43,095	203,418	4.720							4.720
25	常陸大宮	40,590	196,509	4.841							4.841
26	稲敷	39,806	149,230	3.749							3.749
27	かすみがうら	41,200	128,569	3.121							3.121
28	行方	33,775	82,850	2.453							2.453
29	高萩	27,866	112,126	4.024							4.024
30	潮来	27,613	205,421	7.439							7.439
30市平均		81,477	228,403	3.338							3.852

※青色は、中央館のほかに地域館など複数の館を有している自治体です。

## 【2】 施設規模

【1】において収蔵冊数を見直したことに伴い、『新中央図書館整備基本計画』の「必要面積の計算表」(基本計画 P55・表 4-3)と同条件で総面積の再計算を行いました。

なお、室名(=必要諸室)や部門面積については基本計画時のままとしており、今後、設計のなかで改めて精査していく予定です。

### ＜前提条件＞

収蔵冊数		400,000	
蔵書比率(内訳)		開架率	閉架率
一般書	児童書		
65%	35%	50%	50%
開架スペースの面積を算定する際の原単位(㎡当り冊数※)			
一般開架スペース	90 冊/㎡	児童開架スペース	110 冊/㎡

※上記の「蔵書比率」、「開架率」、「㎡当り冊数」は、「新中央図書館整備基本計画」(H31.3)と同一の数値を用いています

単位:㎡

部門	室名	部門面積
導入	風除室	170
	ロッカー・車椅子ベビーカースペース	
	ロビー・飲食スペース	
	情報コーナー	
	自販機コーナー	
児童開架	開架スペース	630
児童開架 (その他)	児童カウンター	80
	おはなしの部屋	
	子ども用トイレ	
	授乳室	
一般開架	開架スペース	1,440
	ティーンズコーナー	
	地域・観光コーナー	
	健康コーナー	
	参考図書コーナー	
	新聞・雑誌コーナー	
	インターネット・AVコーナー	
一般開架 (その他)	サービスカウンター	40
	レファレンスカウンター ※サービスカウンターに含む	
	対面朗読室	
集会・学習	個人学習室	520
	グループ学習室	
	多目的室(視聴覚室)	
	会議室(講座・貸出用)	
事務・管理	事務作業室・通用口	320
	会議室	
	ボランティア室	
	休憩室	
	更衣室	
	倉庫	
保存	閉架書庫	400
共用	階段・廊下・EV・機械室・トイレ等 (全体の20%)	900
合計		4,500

### ■施設規模 (算定結果)

延べ床面積 **4,500** ㎡

## 施設規模の見直し(縮小)に伴う候補地の再検討について



### 【1】 建築面積や駐車場面積等の最低必要面積の想定について

施設規模の見直し(延べ床面積:5,500㎡ ⇒ 4,500㎡)に伴って、建築面積や駐車場面積等から最低限必要となる敷地面積を次のとおり見積もりました。

	最低限必要となる面積		備考
	2階建て	3階建て	
建築面積	2,250㎡	1,500㎡	2階建て=総2階/3階建て=総3階
駐車場(平面)面積	2,800㎡		駐車台数 110 台
駐輪場面積	60㎡		駐輪台数約 50 台
小計	5,110㎡	4,360㎡	
その他の面積 (上記の 20%程度)	1,040㎡	890㎡	通路, 植栽, その他オープンスペース等
合計	6,150㎡	5,250㎡	

上記表による試算の結果、今回施設規模を縮小したことによって、最低限必要となる敷地面積 6,150㎡以上の敷地面積があれば、施設を整備できる可能性があることが分かりました。

### 【2】 候補地1-A 及び 1-B に関する検討

候補地 1-A : 現況敷地	候補地 1-B : 市営元町駐車場敷地
元町 5-3 2,293㎡	元町 4-4 3,530㎡
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中央図書館が立地</li> <li>● 隣接して市営元町駐車場 (3,530㎡) が立地</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市営元町駐車場が立地</li> <li>● 隣接して中央図書館 (2,293㎡) が立地</li> </ul>

[新中央図書館整備基本計画より抜粋]

当初、新中央図書館の候補地として検討していた候補地 1-A は敷地面積が狭く、目標とする施設規模(当時、約 5,500㎡)で整備することができないこと、候補地 1-B も敷地面積に余裕がほとんどなく、現位置での建て替えのため図書館休館期間が長期に渡るなどの理由により、候補地から除外しました。(令和元年度 市議会全員協議会説明資料より)

しかし、候補地 1-A, 1-B および市道中央地区 690 号線を一体の敷地として「候補地 1」とすれば、敷地面積は次表に示すとおり約 6,484 m<sup>2</sup>となり、面積的に整備が可能となることから、今後ほかの候補地と同様に検討していくこととします。

	敷地(土地)面積	2階建て整備 【敷地 6,150 m <sup>2</sup> 以上】	3階建て整備 【敷地 5,250 m <sup>2</sup> 以上】
候補地1	約 6,484 m <sup>2</sup>	○ 可	○ 可
候補地 1-A	2,293 m <sup>2</sup>		
候補地 1-B	3,530 m <sup>2</sup>		
市道中央地区 690 号線	約 661 m <sup>2</sup>		



### 【3】 候補地3に関する検討

『新中央図書館整備基本計画』では、候補地3は「東石川第4公園グランド敷地」として記載され、グランド部分に新図書館を整備することを想定してきました。

しかし、同じ第4公園内にある「市営石川町プール」が建築(S39年3月竣工)から58年が経過し老朽化が進んでいるため、市では今後の施設のあり方についての検討を開始しています。

この状況を踏まえ、グランド敷地のほかに、石川町プール敷地についても、図書館建設場所として検討を進めていくこととします。(既存の航空写真に、プール敷地を囲う赤点線を追加しました。)



■各候補地の諸元

項目	候補地1 現有地・市営元町駐車場等敷地	候補地2 旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場 等敷地	候補地3 東石川第4公園	候補地4 親水性中央公園等敷地
建設候補地				
位置	元町 4-4, 5-3 ほか	勝田中央 14-2, -9	石川町 25	東石川3丁目ほか
土地所有者	市	市	市	国, 県, 市, 民間
敷地面積	約 6,500 m <sup>2</sup>	7,613 m <sup>2</sup>	30,123 m <sup>2</sup> (図書館想定敷地は約 9,000 m <sup>2</sup> [プール敷地] ～約 10,000 m <sup>2</sup> [グラウンド敷地])	約 10,000 m <sup>2</sup> (図書館想定敷地は約 8,100 m <sup>2</sup> )
用途地域	商業地域 / 第一種住居地域	商業地域	第二種住居地域	近隣商業地域 / 市街化調整区域
建ぺい率/容積率	(商業地域) 80% / 400% (第一種住居地域) 60% / 200%	80% / 400%	60% / 200% ※1	80% / 200%
その他制限	準防火地域:耐火建築物(1,500 m <sup>2</sup> を超える 場合)	準防火地域:耐火建築物(1,500 m <sup>2</sup> を超える 場合)	日影規制(4m・5h / 3h(建築物の高さ>10mで適 用)) 石川・青葉地区計画	日影規制(4m・5h / 3h(建築物の高さ>10mで適 用))
想定建物	1階 1,500 m <sup>2</sup> / 2階 1,500 m <sup>2</sup> / 3階 1,500 m <sup>2</sup>	1階 1,500 m <sup>2</sup> / 2階 1,500 m <sup>2</sup> / 3階 1,500 m <sup>2</sup>	1階 2,250 m <sup>2</sup> / 2階 2,250 m <sup>2</sup>	1階 1,500 m <sup>2</sup> / 2階 1,500 m <sup>2</sup> / 3階 1,500 m <sup>2</sup>
想定駐車場	平面駐車場 (110台)	立体駐車場 (210台)※2 1階 (54台) / 2階 (54台) 3階 (54台) / 屋上 (48台)	平面駐車場 (110台)	平面駐車場 (110台)
勝田駅からの道路距離	約 420m(徒歩 5 分)	約 600m(徒歩 7 分)	約 1,030m(徒歩 13 分)	約 890m(徒歩 11 分)
接道道路幅員 ※道路名表示=幹線道路	東側 : — 南側 : 8m 西側 : 15m (勝田佐野線) 北側 : 7.8~8m	東側 : 8m 南側 : 10~12.1m 西側 : 8m 北側 : 33m (昭和通り)	東側 : 6m 南側 : 8m 西側 : 8~10m 北側 : 11m	東側 : 5m 南側 : 親水性中央公園 西側 : 6m 北側 : 33m (昭和通り)
周辺施設 (公共公益施設)	(隣接) 東石川小学校, 教育研究所 (近接)※3 勝田駅, 東石川幼稚園	(隣接) 商工会議所, ひたちなか郵便局 (近接) ひたちなか総合病院, 東石川幼稚園	(隣接) 東石川第4公園, 東石川第1公園, (近接) 石川運動広場, テニスコート, ふぁみりこ らぼ	(隣接) 親水性中央公園 (近接) ひたちなか警察署, ひたちなか市 役所

※1 建ぺい率について, 都市公園法により, 都市公園内の建築物の建築面積は公園面積の 15%(5%+教養施設の特例 10%)に制限される。

※2 商工会議所分の駐車台数100台を含む。

※3 (近接)施設として, 候補地の中心から概ね半径 300m以内にある主要な公共公益施設をピックアップした。

新中央図書館整備基本計画  
追補(その3)

2023.3.1

ひたちなか市



■候補地の評価の概要

[1] 施設規模などの評価の前提条件

新中央図書館の収蔵冊数を40万冊、施設規模(延べ面積)を 4,500 m<sup>2</sup>とする。

[2] 評価対象とする候補地について

新中央図書館の候補地については、これまでに候補地 1-A, 候補地 1-B, 候補地 2, 候補地 3, 候補地 4 が検討されてきたが、候補地 1-A は敷地面積が狭く、目標とする施設規模(当時, 約 5,500 m<sup>2</sup>)で整備することができないこと、候補地 1-B も敷地面積に余裕がほとんどなく、現位置での建て替えのため図書館休館期間が長期に渡るなどの理由により、候補地から除外した。(令和元年度市議会全員協議会説明資料より)

しかし、今回、施設規模を 4,500 m<sup>2</sup>に見直したことにより、候補地 1-A, 1-B, および市道中央地区 690 号線を一体で「候補地 1」とすれば、施設と駐車場を敷地内に整備できる見込みであることから、評価対象とする候補地は、現在の候補地 2, 3, 4 に候補地 1 を加え、計 4 つの候補地について評価を行った。

なお、候補地 1 では、施設規模 4,500 m<sup>2</sup> で整備した場合、駐車場は平面で確保できる見込みであるため、コストの面からも立体駐車場の整備ではなく、平面で駐車場を整備することを基本として評価を行った。

[3] 評価項目について

評価項目は、従前の評価項目を整理し直し、かつ、下記            の新たな評価項目(視点)を加え、次表のとおりとする。

従前の評価項目		今回の評価項目		
大項目	小項目	大項目	小項目	重要度
【1】立地性	敷地規模	【1】建設敷地・スペースの評価	敷地の広さ	高
	立地上の特性		配置計画	
	立地地域の周辺環境		工事施工する上での課題等	
	駐車場の規模及び形状			
【2】アクセス性	徒歩・自転車等によるアクセス	【2】立地性の評価	現在の土地利用状況と図書館が立地することによる影響等	
	公共交通によるアクセス		周辺施設との連携等	高
	自家用車によるアクセス		回遊性や賑わいの創出等	
【3】経済性	経済性(整備コスト)	【3】アクセス性の評価	勝田駅からの距離	
	【4】まちづくりへの影響		既存機能, 利用者への影響	自動車によるアクセス
中心市街地における回遊性, 賑わいの創出				公共交通によるアクセス
				徒歩・自転車によるアクセス
		【4】経済性の評価	総事業費(概算想定)	高
			当該地ならではの追加コスト	高
			旧館の解体	

★ 新規の評価項目を加えた理由

工事施工する上での課題等…候補地1における工事用地の不足, 長期間の駐車場利用不可, 候補地4における工事施工上の課題などが考えられることから, 評価項目を新たに設けた。

勝田駅からの距離…図書館の立地として駅近であることを求める意見があることや, 観光客やビジネスでの利用など新たな利用者層を取り込める可能性も評価対象とするため項目に加えた。

当該地ならではの追加コスト…市の財政状況を踏まえ, 経済性は特に重要な評価項目であるため, 項目数を3つに増やし, 候補地ごとの追加コストの中身(何に追加費用がかかるのか)を明記することとした。

旧館の解体…候補地1が評価対象となったことにより, 旧館解体の時期や費用等が候補地によって違いが出ることとなったため評価項目に加えた。

★ 「重要度」の項目について (1)有識者の意見を踏まえ, 設計の自由度に影響する敷地の広さに関する評価項目については重要度「高」とした。

(2)周辺施設との連携による相乗効果が期待でき, 更なる図書館機能の向上に繋がるかどうか大切な評価ポイントと考え, 周辺施設との連携等を重要度「高」とした。

(3)市の財政状況を踏まえ, 経済性の評価(旧館の解体を除く)は重要度「高」とした。





[4] 評価の方法について

評価の方法は, 4 つの大項目ごとに, 小項目の評価内容を総合的に見て, 評価の高い候補地に「◎」又は「○」を付した。

「◎」は, 評価できる小項目が多い場合, 又は重要度「高」の小項目についてとくに評価が高い場合で, 他の候補地よりも優位性があると認められるものに付す。

「○」は, 課題となる点が少しあるものの, その課題以上に評価できる小項目がある場合, 又は重要度「高」の小項目についてとくに評価が高い場合で, 他の候補地よりも優位性があると認められるものに付す。

■各候補地の諸元

項目	候補地1 現用地・市営元町駐車場等敷地	候補地2 旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地3 東石川第4公園	候補地4 親水性中央公園等敷地
建設候補地				
位置	元町 4-4, 5-3 ほか	勝田中央 14-2, -9	石川町 25	東石川3丁目ほか
土地所有者	市	市	市	国, 県, 市, 民間
敷地面積	約 6,500 m <sup>2</sup>	7,613 m <sup>2</sup>	30,123 m <sup>2</sup> (図書館想定敷地は約 9,000 m <sup>2</sup> [プール敷地] ～約 10,000 m <sup>2</sup> [グラウンド敷地])	約 10,000 m <sup>2</sup> (図書館想定敷地は約 8,100 m <sup>2</sup> )
用途地域	商業地域 / 第一種住居地域	商業地域	第二種住居地域	近隣商業地域 / 市街化調整区域
建ぺい率/容積率	(商業地域) 80% / 400% (第一種住居地域) 60% / 200%	80% / 400%	60% / 200% ※1	80% / 200%
その他制限	準防火地域:耐火建築物(1,500 m <sup>2</sup> を超える場合)	準防火地域:耐火建築物(1,500 m <sup>2</sup> を超える場合)	日影規制(4m・5h / 3h※2(建築物の高さ>10mで適用)) 石川・青葉地区計画	日影規制(4m・5h / 3h(建築物の高さ>10mで適用))
想定建物※4	1階 1,500 m <sup>2</sup> / 2階 1,500 m <sup>2</sup> / 3階 1,500 m <sup>2</sup>	1階 1,500 m <sup>2</sup> / 2階 1,500 m <sup>2</sup> / 3階 1,500 m <sup>2</sup>	1階 2,250 m <sup>2</sup> / 2階 2,250 m <sup>2</sup>	1階 1,500 m <sup>2</sup> / 2階 1,500 m <sup>2</sup> / 3階 1,500 m <sup>2</sup>
想定駐車場	平面駐車場 (110台)	立体駐車場 (210台) ※3 1階(54台)/2階(54台)/3階(54台)/屋上(48台)	平面駐車場 (110台)	平面駐車場 (110台)
勝田駅からの道路距離	約 420m(徒歩 5 分)	約 600m(徒歩 7 分)	約 1,030m(徒歩 13 分)	約 890m(徒歩 11 分)
接道道路幅員 ※道路名表示=幹線道路	東側 : — 南側 : 8m 西側 : 15m (勝田佐野線) 北側 : 7.8~8m	東側 : 8m 南側 : 10~12.1m 西側 : 8m 北側 : 33m (昭和通り)	東側 : 6m 南側 : 8m 西側 : 8~10m 北側 : 11m	東側 : 5m 南側 : 親水性中央公園 西側 : 6m 北側 : 33m (昭和通り)
周辺施設 ※5 (公共公益施設)	(隣接) 東石川小学校, 教育研究所 (近接) 勝田駅, 東石川幼稚園	(隣接) 商工会議所, ひたちなか郵便局 (近接) ひたちなか総合病院, 東石川幼稚園	(隣接) 東石川第4公園, 東石川第1公園 (近接) 石川運動広場, テニスコート, ふぁみりこらぼ	(隣接) 親水性中央公園 (近接) ひたちなか警察署, ひたちなか市役所
現況	・現市営元町駐車場及び中央図書館敷地, 市道を含むエリアである。 ・敷地内を市道中央地区 690 号線が南北に通っており, 約200名の小学校児童が通学路としても利用。 ・市営駐車場は, 図書館利用者以外に, 東石川小, ひたちなか市国際交流協会, 市民交流センターの来訪者・関係者等の利用があり, 約7割の利用が30分以内の無料駐車となっている。(東石川小は慢性的に駐車場不足である。)	・平成29年秋に移転した青少年センター・生涯学習センター等の跡地。現在は, 市営勝田中央駐車場として活用。 ・市営駐車場は商工会議所来所者, 郵便局利用者, 幼稚園や塾の送迎等での利用があり, 約7割の利用が30分以内の無料駐車となっている。 ・市営駐車場としての利用以外に, ひたちなか祭りの際に, イベント会場としての使用や, 実行委員会の資材置き場等に利用されることがある。	・グラウンドは, 主に軟式野球(年間112日の利用[R3年度])及びグラウンドゴルフ(主に平日昼間の利用)の利用がある。 ・グラウンドは平坦であるが, 防球ネットやバックネット, 外野フェンス等の構造物が設置されている。 ・市営プールは毎年7, 8月の2か月間開設されているが, 老朽化が進んでおり, 市では廃止も含めた今後の施設のあり方を検討している。 ・幹線道路から1街区離れており, 周辺にはマンションや住宅が多く立地している。	・敷地内を市道中央地区 294 号線が東西に通っており, 道路を境に約 4~5mの高低差がある。 ・また, 同路線の北側は市街化区域, 南側は市街化調整区域となっている。 ・敷地内に一部民有地が含まれており, 民家やビルが建っている。 ・調節池機能を有する親水性中央公園との境界付近(候補地敷地南端部)では築堤工事が行われている。
<p>※1 建ぺい率について, 都市公園法により, 都市公園内の建築物の建築面積は公園面積の 15%(5%+教養施設の特例 10%)に制限される。 ※4 想定建物の各階面積は, シミュレーションを行う上での仮の条件設定である</p> <p>※2 日影規制の「4m・5h/3h」とは, 冬至日の午前8時~午後4時までで地盤面から 4mの高さで, 敷地境界線から 5m~10mまでの範囲は 5 時間, 10m超の範囲は 3 時間以内であれば, 日影がかかってもよい時間であることを意味する。</p> <p>※3 商工会議所分の駐車台数100台を含む。 ※5 周辺施設については, 候補地(土地の中心点)から概ね半径 300mの範囲内で, 図書館との連携の可能性が考えられる公共公益施設を中心にピックアップした。</p>				

項目	候補地1 現有地・市営元町駐車場等敷地	候補地2 旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地3 東石川第4公園	候補地4 親水性中央公園等敷地
建設候補地				

【1】 建設敷地・スペースの評価 **重要度:高** ……有識者の意見を踏まえ、設計の自由度に影響する敷地の広さに関する評価項目については重要度「高」とした。





項目	現有地・市営元町駐車場等敷地	旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	東石川第4公園	親水性中央公園等敷地	
建設敷地・スペースの評価	敷地の広さ <b>重要度:高</b>	●敷地面積は約 6,500 m <sup>2</sup> で、候補地中で最も狭い。 ○図書館建屋は2層でも敷地に収まる可能性があるが、敷地の余裕は殆ど無い。3層でも、敷地の余裕は約 1,250 m <sup>2</sup> 程度と設計上の自由度がかなり低い。 ●ピロティを設けるなどして駐車場を確保するなどの工夫が必要になる可能性もある。	●敷地面積は 7,613 m <sup>2</sup> で、候補地中で2番目に狭い。 ●駐車台数 210 台を確保するため、図書館建屋は 3 層とし、駐車場は立体駐車場での整備の必要があるが、両建屋の建築面積等を除いた敷地の余裕は約 2,300 m <sup>2</sup> 程度となる。	●敷地面積は、約 9,000 m <sup>2</sup> ～約 10,000 m <sup>2</sup> で、候補地中で最も広い。 ●建物を2層で建築し、かつ、駐車場を平面で確保しても敷地には約 2,850 m <sup>2</sup> 程度の余裕があり、1階部分の面積を広く取ることも可能であるなど、設計上の自由度が非常に高い。	●敷地面積は約 8,100 m <sup>2</sup> で、候補地中で 2 番目に広い。 ●高低差のある敷地形状から、建物は 3 層とする計画となるが、駐車場を平面で確保しても敷地には約 2,850 m <sup>2</sup> 程度の余裕があり、設計上の自由度がある。
	配置計画	●複数年に渡る休館期間が発生してしまうため、市民の利便性を考慮すると今と同位置での建て替えはできない。 ●建屋の位置が現元町駐車場内に限定され、敷地の余裕もないため配置計画上の自由度が低下する。 ○渋滞する交差点が近いため、駐車場出入口の位置も含めて、配置計画における工夫が必要である。	●図書館棟と駐車場棟の2棟を敷地内に配置する計画としているため、駐車場出入口を含め、建物の形状に合わせた配置については、自由度が低下する。	●隣接の公園と一体での利用を想定した配置計画とすることも可能である。 ●建物の位置や駐車場の形状、敷地(駐車場)への出入口の設置場所など配置計画上の自由度が高い。(グランド敷地に建てる場合) ●プールに隣接するためプライバシーへの配慮が必要となる。	○当初隣接する公園と一体での利用を想定した配置計画であったが、公園との境界付近で築堤工事が進んでおり、状況が変化している。 ●敷地に高低差があるため、図書館建屋の位置や形状、駐車場の位置や車両の進入路などには工夫が必要となる。
	工事施工する上での課題等	●元町駐車場エリア内に建て替えるのであれば、休館期間は他の候補地とさほど変わらなくなる。 ○但し、建設工事期間中～旧館解体後駐車場が整備されるまで約3年以上駐車場が利用できない。 ●既存図書館を開館しながら工事を行うため、騒音や振動の影響が懸念される。 ○建設用地が手狭なため、工事資材や残土置き場、仮設事務所の用地を周辺で別途確保する必要がある。	●敷地は平坦であり、工事の施工自体はしやすい。 ●隣接して商工会議所があるため、工事施工の際に配慮が必要となる。あわせて、郵便局前の道路が日常的に混雑しており、工事車両の通行にも配慮が必要となる。	●広くて平坦な敷地であり、工事の施工自体はしやすい。 ●周辺にはマンションや住宅が多く立地しており、工事の実施や工事車両の進入に対する周辺への配慮が必要となる。	●高低差のある敷地であり、切土や盛土などの工事に伴う擁壁処理、仮設工事などの対策が必要であるほか、敷地南側の堤防への影響が及ばないよう盛土工事における配慮が必要となる。 ●敷地内に民家等があるため、移転補償の交渉や事務手続きなどに一定の時間を要する。
有識者からの意見	●図書館は平屋で整備するのが一番良い。(最低でも、児童と大人のフロアを分けることは避け、親子が同じフロアで過ごせるようにすべきである。) ●設計の自由度が高い場所を用意するのが良い。				

評価	◎ 敷地が最も広く余裕があり、建物設計及び配置計画上の自由度が高く、2層でも平屋に近い整備が可能。また、工事施工上の課題も少ない。	○ 高低差がある敷地のため、配置計画や工事等において工夫が必要となるが、敷地が2番目に広く余裕があるため、建物設計上の自由度がある。
----	-------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------

項目	候補地1 現有地・市営元町駐車場等敷地	候補地2 旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地3 東石川第4公園	候補地4 親水性中央公園等敷地
建設候補地				

【2】立地性の評価 **重要度:高** ……周辺施設等との連携による相乗効果が期待でき、更なる図書館機能の向上に繋がるかという点については、評価上特に重要度が高い項目とする。

項目	現有地・市営元町駐車場等敷地	旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	東石川第4公園	親水性中央公園等敷地
現在の土地利用状況と図書館が立地することによる影響等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市営駐車場は図書館利用者以外に、東石川小、国際交流協会、市民交流センターの来訪者・関係者等の利用があり、工事等で駐車場が使用できなくなると、他施設等への影響が懸念される。</li> <li>●市道 690 号線は、通学路や園児・児童の送迎、駐輪場利用者等の通行が多く、迂回路へのガードレール設置や自転車との分離等の安全対策が必要となる。</li> <li>●東石川小学校の正門が接道できなくなることや通学路の確保など学校側の理解、調整が必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市営駐車場は商工会議所や郵便局の利用者、幼稚園や塾の送迎等での利用があり、工事等で駐車場が使用できなくなると、他施設等への影響が懸念される。</li> <li>○当該地周辺は、「誰もが歩いて暮らせる健康なまちづくり」をテーマに、健康いきいきロード等の歩道整備がされているエリアである。</li> <li>●ひたちなか祭りの際に、イベント会場や資材置き場等に利用されることがあるため、イベントの運営に影響を及ぼすことが懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図書館利用者の車が街区道路(生活道路)に進入することについて、住民等への説明が必要である。</li> <li>○当該地周辺のエリアは、「誰もが歩いて暮らせる健康なまちづくり」をテーマに、健康いきいきロード等の歩道整備がされているエリアである。</li> <li>(グランド敷地に建てる場合)</li> <li>●野球やグラウンドゴルフなどグランド利用者の受け皿(代替施設)をほかに確保することが課題である。</li> <li>●勝田全国マラソン大会のメイン会場の一部となっており、大会運営に影響を及ぼすことが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図書館の立地により、親水性中央公園への昭和通りからのアクセスも容易になり、<b>集客力のある図書館と公園が隣接することの相乗効果により、両施設の相互利用を促進し、更なる利用者の増加が見込まれる。</b></li> <li>●市道 294 号線は交通量も多くないため、図書館と公園との一体性を確保することを考慮すると、廃道となる可能性が高い。この場合、地域住民など地元への説明が必要となる。</li> </ul>
立地性の評価 周辺施設との連携等 <b>重要度:高</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●隣接する東石川小学校や東石川幼稚園では、<b>図書館での調べ学習、親子での図書館利用など既に図書館と連携しており、今後、更なる連携も期待できる。</b></li> <li>●用途地域が商業地域であることから、<b>図書館の立地に伴って、店舗や飲食店などの出店やそれら施設との連携なども将来的に期待できる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺には商工会議所、ひたちなか総合病院、ひたちなか郵便局が立地し、利便性の高い公共エリアを構築することができる。</li> <li>●用途地域が商業地域であることから、<b>図書館の立地に伴って、店舗や飲食店などの出店やそれら施設との連携なども将来的に期待できる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>緑豊かな公園や、子育て支援施設、生涯学習センターなど図書館と親和性の高い施設が周辺に多く、図書館機能との連携及び相乗効果が期待できる。</b></li> <li>●周辺には生涯学習センターや運動広場、文化会館などの文教施設が集まるエリアであり、<b>図書館の立地によって文教エリアの拡充が図られる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市役所やひたちなか警察署にも近接していることから、図書館整備により、中心市街地において利便性の高い公共エリアを構築することができる。</li> <li>●<b>広大な公園に隣接し自然に触れ合える静かな環境も有しており、来館者が公園との連続性のなかで学び、遊び、憩うことができる。</b></li> </ul>
回遊性や賑わいの創出等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立地適正化計画の都市機能誘導区域内にあり、誘導すべき施設として図書館を位置付けていることから、都市計画の観点からも相応しい候補地と言える。</li> <li>●<b>勝田駅や商店街に非常に近く、歩行者天国の実施など駅前周辺の歩きたくなる(ウォーカブルな)空間づくりも可能である。来館者の増加や周辺の民間施設の立地等が伴えば、更なる賑わいの創出が期待できる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同左</li> <li>●<b>勝田駅から図書館まで、昭和通りに沿って、歩きたくなる空間の創出も期待でき、来館者の増加や周辺の民間施設の立地等が伴えば、更なる賑わいの創出が期待できる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同左</li> <li>●中心市街地の中心部からはやや離れた、メイン通りに面していない場所に位置しているが、<b>親和性の高い周辺施設との連携等により回遊性が高まり、図書館周辺エリアにおいて(面的に)更なる賑わいの創出が期待できる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同左</li> <li>●勝田駅からシンボルロードである昭和通りに沿って連続するエリアに、新たな人の流れを生み出し、中心市街地の更なる賑わいの創出が期待できる可能性があるが、駅からは徒歩圏外の距離にある。</li> </ul>
有識者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他の施設が図書館の周辺にあることはメリットだが、とくに図書館との親和性が高い施設であれば相乗効果がより期待できる。</li> <li>●周辺公共施設との連携だけでなく、周辺の民間施設の立地(新規立地も含む)や連携なども考慮して評価したほうが良い。利用者の回遊、歩きたくなる(ウォーカブルな)まちの実現にもつながる。</li> </ul>			
評価	○ 駅や表町商店街から延びる通りに沿って歩きたくなる空間が作りやすく、来館者の増加による新たな人の流れや新規出店の可能性など賑わいの創出が期待できる。	○ 駅から昭和通りに沿って歩きたくなる空間の創出も期待でき、来館者の増加による新たな人の流れや新規出店の可能性など賑わいの創出が期待できる。	◎ 周辺エリアは歩道が整備され、図書館と親和性の高い施設が周辺に複数ある。これら施設との連携が非常に期待でき、回遊性も高まり賑わいの創出が期待できる。	◎ 親和性の高い広大な公園に隣接し、良好な環境の中で、学び、遊び、憩うことができる相乗効果により、両施設の相互利用が促進され利用者の増加も見込まれる。





項目	候補地1 現有地・市営元町駐車場等敷地	候補地2 旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地3 東石川第4公園	候補地4 親水性中央公園等敷地
建設候補地				

### 【3】 アクセス性の評価



項目	現有地・市営元町駐車場等敷地	旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	東石川第4公園	親水性中央公園等敷地	
アクセス性の評価	勝田駅からの距離	●駅からの道路距離は約420mで、「徒歩圏」及び「高齢者徒歩圏」内※1にある。最も駅に近く分かり易い。 ●通勤、通学のほか、市外からの観光やビジネスでの来訪者の利用も見込める可能性が十分ある。	●駅からの道路距離は約600mで、「徒歩圏」内である。駅から一直線の昭和通り沿で非常に分かり易い。 ●通勤、通学のほか、市外からの観光やビジネスでの来訪者の利用も見込める可能性がある。	●勝田駅からの道路距離は約1,030mで、4候補地のなかで最も駅から遠く、「徒歩圏」外である。 ●幹線道路から離れているため、標識などアナウンスが必要である。	●勝田駅からの道路距離は約890mで、「徒歩圏」外である。 ●駅から距離はあるが、昭和通り沿いで分かり易い。
	自動車によるアクセス	○昭和通り・商店街方面からの来館は、幹線道路からの右折進入となり、交通安全上危険性が高い。 ○一方、佐和方面から来館はしやすいが、退出時に幹線道路へ右折で出る際に交通安全上危険性が高い。 ○交通量の多い幹線道路との出入りや、渋滞の発生しやすい(右折レーンの無い)交差点にも近く、敷地付近での交通渋滞の誘引が懸念される。 ○北側道路も近接交差点からの渋滞の影響を受けやすく、車の出入りに伴い渋滞を誘引する懸念がある。	○4方を道路に囲まれ、接道状況は良い。昭和通りに面しており、海浜公園方面からのアクセスが良い。 ○一方、昭和通りには中央分離帯があるため、勝田駅方面から来る場合と、海浜公園方面へ帰る場合には街区道路を通して昭和通りに出る必要がある。 ○南側道路は郵便局利用者による交通渋滞が常時発生しており、更なる交通渋滞の誘引が懸念される。 ●立体駐車場に対する心理的抵抗感を抱く人がいる。利用者用エレベーターの設置が必須となる。	○西側、南側、北側道路は街区道路であるが、センターラインのある道路のため、どの方向からでもアクセスしやすい。 ●街区道路は交通量もさほど多くないため交通安全上の危険性が低い。 ○幹線道路(勝田富士山線・金上田彦線)より1街区離れており、図書館利用者の車が街区道路(生活道路)に進入することについて、住民等への説明が必要である。(但し、交通渋滞誘引の懸念まではない)	○昭和通りに面しており、海浜公園方面からのアクセスは良い。 ○敷地に高低差があるため、駐車場に入るまでの車路が勾配(6-8%)となり、安全に配慮した整備が必要。昭和通り以外からの安全な進入経路の確保は難しい。 <u>○市役所への進入路と図書館への進入路が正対せず、変則交差点になってしまう。</u> <u>●(道路ではない)敷地などへ出入りするための信号機の設置は原則不可である。(ひたちなか警察署)</u>
	公共交通によるアクセス	●公共交通が集中する勝田駅に近接しており、電車やバスなど豊富な手段で来館がしやすい。 ● <u>コミバスで最寄りの既存のバス停(勝田駅東口, 中央図書館)をそのまま利用できるコースが4つある。</u>	●接道する幹線道路(昭和通り)上の直近のバス停に、路線バスが47本/日※2運行している。 ● <u>コミバスで最寄りの既存のバス停(ひたちなか郵便局・ひたちなか総合病院)をそのまま利用できるコースが5つある。</u>	●徒歩でのアクセスが可能な範囲※3にバス停があり、路線バスが12本/日※2運行している。 ● <u>コミバスで最寄りの既存のバス停(ふぁみりこらぼ)をそのまま利用できるコースが5つある。</u>	●接道する幹線道路(昭和通り)上の直近のバス停に、路線バスが47本/日※2運行している。 ● <u>コミバスで最寄りの既存のバス停(ひたちなか市役所)をそのまま利用できるコースが3つある。</u>
	徒歩・自転車によるアクセス	●西側の幹線道及び南側の進入道路には歩道があるが、 <u>バリアフリーへの更なる配慮が必要である。</u> ●一方、北側の道路には歩道がなく、東側については接道が無い。(北側又は南側から迂回)	●昭和通りには、歩道に加え自転車専用レーンが整備されており、自転車でのアクセスが容易である。 ●「健康いきいきロード」等の歩道整備地区である。 ●西側、南側の道路は歩道があるが、 <u>バリアフリーへの更なる配慮が必要である。</u> 東側は路肩着色のみ。	●西側、北側、南側(マジョ敷地沿いのみ)の道路は歩道があるが、 <u>バリアフリーへの更なる配慮が必要である。</u> ●「健康いきいきロード」等の歩道整備地区である。 ●隣接する公園内を通してアクセスすることも可能。	●昭和通りには、歩道に加え自転車専用レーンが整備されており、自転車でのアクセスが容易である。 ●南(公園)側等からは、公園を通してアクセスできるが、公園は周囲より低く高低差があり、来館が辛い。
有識者からの意見	●周辺道路に歩道が整備されていても、バリアフリーへの更なる配慮が必要である。(イベント等で歩道が混雑する時や双子用ベビーカーが通れない等の懸念) ●コミバスのバス停を設けることができても、ルートが遠回りになり所要時間が増える場合は、利用者にデメリットが生じることもあるので評価上も考慮すべき。 ●候補地4では、昭和通りからの車両の出入については、十分検討する必要がある。(変則交差点となり、かつ信号機の設置が不可であることなどから検討が必要)				

※1 徒歩圏は半径800m, 高齢者徒歩圏は半径500m。(「都市構造の評価に関するハンドブック」(H26.8/国交省)より引用) ※2 平日の路線バスの本数で比較した。 ※3 バス停の誘致距離である半径300m以内をアクセス可能な範囲とした。

評価	候補地1	候補地2	候補地3	候補地4
	○ ※「自動車によるアクセス」において、駅前や幹線道路における交通渋滞の誘引が懸念されるなど交通安全上の課題がある。	○ 駅に近く、昭和通りに面し、周辺地区は歩道が整備され、公共交通、徒歩や自転車での来館もしやすい。一方で、車でのアクセスには課題がある。	○ 車でのアクセスは最もやすく、周辺地区は歩道整備がされている。一方で、駅から最も遠く、通りからは1本奥に入っている。	○ 市役所に近く、路線バスなどの公共交通や昭和通りからの自転車や徒歩でのアクセスは良い。ただし、昭和通りからの自動車による敷地への出入りは検討が必要。





項目	候補地1 現有地・市営元町駐車場等敷地	候補地2 旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地3 東石川第4公園	候補地4 親水性中央公園等敷地
建設候補地				

【4】 経済性の評価 **重要度:高** ……本市の財政状況を踏まえ、「総事業費」及び「追加コスト」については、評価上特に重要度が高い項目とする。

項目	現有地・市営元町駐車場等敷地	旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	東石川第4公園	親水性中央公園等敷地
総事業費 (概算想定)  <b>重要度:高</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業費については、新中央図書館整備費、調査測量費を概ね 3,852,700 千円と試算する。</li> <li>●4 候補地の中で、最も整備費が安い。</li> </ul> <p>※事業費の試算については、標準的な平米単価等を用い、単純試算を行った。</p> <p>※事業費については、今後の景気の動向や建材価格、労務費の上昇、詳細条件の検討などにより、変動する可能性がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業費については、新中央図書館整備費、調査測量費を概ね 4,968,800 千円と試算する。</li> <li>●4 候補地の中で最も整備費が高い。最も安価な候補地 1 と比較して約 11 億円以上整備費が高い。</li> </ul> <p>※事業費の試算については、標準的な平米単価等を用い、単純試算を行った。</p> <p>※事業費については、今後の景気の動向や建材価格、労務費の上昇、詳細条件の検討などにより、変動する可能性がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業費については、新中央図書館整備費、調査測量費を概ね 3,915,200 千円と試算する。</li> <li>●4 候補地の中で、2 番目に整備費が安い。最も安価な候補地 1 とは約 7 千万円の差である。</li> </ul> <p>※事業費の試算については、標準的な平米単価等を用い、単純試算を行った。</p> <p>※事業費については、今後の景気の動向や建材価格、労務費の上昇、詳細条件の検討などにより、変動する可能性がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業費については、新中央図書館整備費、調査測量費及びその他の経費を概ね 4,677,100 千円と試算する。</li> <li>●4 候補地の中で、2 番目に整備費が高い。最も安価な候補地 1 と比較して約 8 億円以上整備費が高い。</li> </ul> <p>※事業費の試算については、標準的な平米単価等を用い、単純試算を行った。</p> <p>※事業費については、今後の景気の動向や建材価格、労務費の上昇、詳細条件の検討などにより、変動する可能性がある。</p>
当該地ならではの追加コスト  <b>重要度:高</b>	<p>○建設工事に伴い工事用地の借上げ費用が発生する可能性はあるが、4 候補地のなかで追加費用の発生は最小限で済むと想定される。(借地料借地面積や借地場所が不明のため、具体的な金額は算定できない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●候補地 1 での建設には現図書館解体費が別途必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●追加コストとして、立体駐車場の設計費(28,300 千円[図書館整備費に込み])と整備費(1,130,000 千円)が発生する。(候補地 3 や 4 の平面駐車場整備費 96,000 千円と比べて、1,062,300 千円のコストが余計にかかる)</li> </ul>	<p>(グラウンド敷地に建てる場合)</p> <p>○追加コストとして、グラウンド(防球ネット、バックネット、外野フェンス)の解体費が発生する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第4公園グラウンドの代替整備が必要となる場合にはその分の追加コストが発生する。</li> </ul> <p>(プール敷地に建てる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プール敷地での建設にはプール施設の解体費が別途必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民有地があるため、用地購入費(330,000 千円)および移転補償料(200,000 千円)が発生する。また、あわせて、事業認定申請書作成委託料(13,200 千円)も必要となる。</li> <li>●このほか、高低差がある敷地のため、駐車場への車路スロープ整備や、盛土に伴う擁壁や土留め工事、切土に伴う仮設工事費等が追加コストとして発生する可能性がある。</li> </ul>
旧館の解体	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新館建設と同時期に、旧館解体の費用負担(又は資金確保)が発生するため、市の単年度負担額(持ち出し又は借入れ)が増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新館建設のために旧館解体の必要が無く、跡地利用や解体時期などを検討する時間的余裕がある。</li> <li>●市の財政状況によっては、解体費の支出を後年度に遅らせることも可。</li> </ul>	・同左	・同左
評価	 事業費が最も安く、追加費用も最小限である。		 事業費が 2 番目に安く候補地 1 と大きな差はない。	

※資料作成時点での単純試算による比較であり、今後の景気の動向や建材価格・労務費の上昇、詳細条件の検討などにより、大きく変動する可能性がある

■評価のまとめ

項目	候補地1 現有地・市営元町駐車場等敷地	候補地2 旧青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地	候補地3 東石川第4公園	候補地4 親水性中央公園等敷地
建設候補地				

【1】建設敷地・スペースの評価

評価	候補地1	候補地2	候補地3	候補地4
			◎ 敷地が最も広く余裕があり、建物設計及び配置計画上の自由度が高く、2層でも平屋に近い整備が可能。また、工事施工上の課題も少ない。	○ 高低差がある敷地のため、配置計画や工事等において工夫が必要となるが、敷地が2番目に広く余裕があるため、建物設計上の自由度がある。

【2】立地性の評価

評価	候補地1	候補地2	候補地3	候補地4
	○ 駅や表町商店街から延びる通りに沿って歩きたくなる空間が作りやすく、来館者の増加による新たな人の流れや新規出店の可能性など賑わいの創出が期待できる。	○ 駅から昭和通りに沿って歩きたくなる空間の創出も期待でき、来館者の増加による新たな人の流れや新規出店の可能性など賑わいの創出が期待できる。	◎ 周辺エリアは歩道が整備され、図書館と親和性の高い施設が周辺に複数ある。これら施設との連携が非常に期待でき、回遊性も高まり賑わいの創出が期待できる。	◎ 親和性の高い広大な公園に隣接し、良好な環境の中で、学び、遊び、憩うことができる相乗効果により、両施設の相互利用が促進され利用者の増加も見込まれる。

【3】アクセス性の評価

評価	候補地1	候補地2	候補地3	候補地4
		○ 駅に近く、昭和通りに面し、周辺地区は歩道が整備され、公共交通、徒歩や自転車での来館もしやすい。一方で、車でのアクセスには課題がある。	○ 車でのアクセスは最もやすく、周辺地区は歩道整備がされている。一方で、駅から最も遠く、通りからは1本奥に入っている。	○ 市役所に近く、路線バスなどの公共交通や昭和通りからの自転車や徒歩でのアクセスは良い。ただし、昭和通りからの自動車による敷地への出入りは検討が必要。

【4】経済性の評価

評価	候補地1	候補地2	候補地3	候補地4
	◎ 事業費が最も安く、追加費用も最小限である。		◎ 事業費が2番目に安く候補地1と大きな差はない。	

新中央図書館整備基本計画  
追補(その4)

2024.3.31

ひたちなか市



# 新中央図書館の施設計画の見直しについて

2024.3.31

「新中央図書館の所蔵冊数・施設規模の見直しについて」(2022.12.17)にて、新中央図書館における所蔵冊数を約 400 千冊、延床面積を約4,500㎡に見直したことに伴い、「新中央図書館整備基本計画」(H31. 3)(以下「整備基本計画」という)の一部を次のとおり見直します。

## 第4章 新中央図書館の施設計画

### 4-1 必要諸室と整備方針

#### (1) 想定するサービスと必要諸室

表4-1(整備基本計画 51 頁)を別紙1のとおり見直します。

#### (2) 諸室の整備方針

表4-2(整備基本計画 53～54 頁)を別紙2のとおり見直します。

### 4-2 施設の規模

表4-3(整備基本計画 55 頁)を別紙3, 図4-1(整備基本計画 56 頁)を別紙4のとおり見直します。

表 4-1 想定するサービスと必要諸室

サービス計画			必要諸室
<b>1 まなび：現在及び将来の市民一人ひとりの読書・学習を支援</b>			
(1) 中央館として相応しい質・量の資料の提供	1) 十分な量かつ新鮮で魅力的な資料の提供	① 豊富で幅広い資料の提供 ② 時代やニーズの変化に対応した資料の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エントランス・飲食・休憩スペース</li> <li>● 児童開架スペース・一般開架スペース</li> <li>● 児童カウンター・サービスカウンター</li> <li>● 授乳室・子ども用トイレ</li> <li>● 新聞・雑誌コーナー</li> <li>● インターネット・AVコーナー</li> <li>● 企画展示コーナー</li> <li>● 参考図書コーナー・郷土資料コーナー</li> <li>● 予約本受け取りコーナー</li> <li>● 読書支援室</li> <li>● 静寂読書室</li> <li>● 学習室・学習個室・グループ学習室</li> <li>● 多目的室（視聴覚・講座・貸出用）</li> <li>● 閉架書庫</li> </ul>
	2) 豊富な資料との多様な接点の提供	① 読書の幅を広げるきっかけの提供 ② 利便性の高い利用条件・方法の設定	
(2) すべての利用者にとって快適な読書・学習環境の提供	1) 利用目的に応じた環境の提供	① 個人での利用に適した環境の提供 ② 複数人での利用に適した環境の提供	
	2) 誰もが快適で親しみやすい環境の提供	① ユニバーサルデザインに配慮した環境の提供 ② 気軽に立ち寄りやすい環境の提供	
(3) ICTの活用による利便性の向上	1) 職員を介さず利用可能な環境の提供		
	2) 必要な情報の入手が可能な環境の提供		
<b>2 みどり：日々の疑問の解決から生涯を通じた主体的な取り組みへ</b>			
(1) 充実したレファレンスサービスの提供	1) 職員による専門的な調査・研究の支援	① 職員による直接的な支援の提供 ② 適切な情報へのアクセス手段の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童開架スペース・一般開架スペース</li> <li>● おはなしの部屋</li> <li>● レファレンスカウンター・児童カウンター</li> <li>● ティーンズコーナー</li> <li>● インターネットコーナー</li> <li>● 読書支援室</li> <li>● 参考図書コーナー</li> <li>● 企画展示コーナー</li> <li>● 学習室・学習個室・グループ学習室</li> <li>● 多目的室（視聴覚・講座・貸出用）</li> <li>● ボランティア室</li> </ul>
	2) 市民生活に役立つ資料・情報の提供		
(2) ライフステージや年代に応じたサービスの展開	1) 生涯にわたる継続した読書・学習の支援	① 子どもの読書・学習習慣の形成の支援	
		② 大人の日常的な学習の支援	
		③ 高齢者の生きがいがづくりの支援	
	2) 利用が困難な市民の読書・学習の支援		
<b>3 あそび：知的好奇心を刺激し、子どものアソビをマナビに</b>			
(1) 関連機関と連携した読書活動の支援	1) 未就学児に向けた連携と支援	① 「ふぁみりこらぼ」など公共施設との連携 ② 幼稚園・保育所（園）との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エントランス・飲食・休憩スペース</li> <li>● 児童開架スペース</li> <li>● 児童カウンター</li> <li>● おはなしの部屋</li> <li>● ティーンズコーナー</li> <li>● 企画展示コーナー</li> <li>● 学習室・学習個室・グループ学習室</li> <li>● 多目的室（視聴覚・講座・貸出用）</li> <li>● ボランティア室</li> </ul>
	2) 小中学生に向けた連携と支援		
(2) 就学期以降の子どもの本や読書との触れ合いの支援	1) 毎日でも利用したくなる環境の提供	① 伸び伸びと本に触れられる環境の提供 ② 自由に遊ぶことのできる環境の提供	
	2) 様々な気づきを体感できる機会の提供		
(3) 中高生の利用や学習の支援	1) 身近で居心地の良い環境の提供	① 同じ時間を共有できる環境の提供 ② 思い思いに過ごすことのできる環境の提供	
	2) 自主的な活動が可能な環境の提供		
<b>4 未来へ：地域の「想い」「夢」を実現するまちづくり・ひとづくりに貢献</b>			
(1) ひたちなか市らしい資料・情報の提供	1) 地域の歴史や文化の継承	① 郷土・行政資料の積極的な収集・発信 ② 郷土の魅力に触れる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エントランス・飲食・休憩スペース</li> <li>● 児童開架スペース</li> <li>● おはなしの部屋</li> <li>● 子ども用トイレ・授乳室</li> <li>● 企画展示コーナー</li> <li>● 郷土資料コーナー</li> <li>● 多目的室（視聴覚・講座・貸出用）</li> <li>● ボランティア室</li> </ul>
	2) 市内外に向けた観光資源の発信		
(2) 暮らしやすいまち、豊かな暮らしの実現の支援	1) ビジネス支援や健康づくり支援	① ビジネス・仕事に関する支援 ② 心身両面の健康づくりに関する支援	
	2) 子育てや市民活動の支援	① 子育て世代への支援 ② 市民の自立と協働への支援	
(3) 市民の居場所づくりと交流・賑わいの創出	1) 市民が集う場や機会の提供	① 利用者間での交流の創出 ② 地域の賑わいの創出	
	2) ボランティア活動の場と機会の提供		

表4-2 諸室の整備方針

区分	部	ゾーン	室名	機能・用途	配置	仕様
			共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長く市民に愛され、親しまれる施設とするため、市民が立ち寄りやすく利用しやすい魅力的な施設となるよう配慮します。</li> <li>●子どもから高齢者、障害を抱える方、外国人などのすべての市民に配慮した施設として、ユニバーサルデザインへの取り組みを重視します。</li> <li>●隣接する公園の緑を活かした施設及び諸室の配置とし、公園との連携が図れるよう諸室等の整備を行います。</li> <li>●一般開架と児童開架はワンフロアで整備します。</li> <li>●階をまたいだ移動を少なくし、利用者にとって分かりやすくスムーズな利用者動線となるフロア構成とします。</li> <li>●利用者同士の会話や飲食の可能な空間や読み聞かせの可能な空間などを設ける一方、賑わいの空間と静寂の空間との共存に配慮し、一人ひとりの利用者の快適性を確保します。</li> <li>●吹き抜け空間や階段などの配置を通じて、開放的でゆとりある空間構成とするほか、壁や書架には木材を多用することでぬくもりを感じられる空間として整備します。</li> <li>●将来的な市民ニーズや情報技術の変化にも対応できる施設となるよう配慮します。</li> <li>●自動貸出機や自動返却機の設置や、館内のどこでもWi-Fiを利用可能とするなど、ICT機器の導入により利用者の利便性の向上を図ります。</li> <li>●シビックプライド醸成に繋がるような、地域の文化や歴史、風俗などを活かした施設となるよう配慮します。</li> <li>●自然災害の発生を想定した、災害につよい施設整備を目指します。</li> </ul>		
利用者	導入	エントランス		<ul style="list-style-type: none"> <li>●行事関連情報の発信等の展示スペース、ブックコートや車椅子を配備するスペースを確保します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駐車場や公園との位置関係を踏まえ、適切な位置に配置します。</li> <li>●サービスカウンター及び児童カウンターとの関係や見通しに配慮します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一角にポスター掲示・チラシ設置等のための情報コーナーを設けるほか、電子掲示板や掲示板、ロッカーなどを設置します。</li> </ul>
		児童開架	児童開架スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもや親子が資料を手に取り、本への関心を育んだり、読書や学習をしたりするための空間とします。</li> <li>●書架レイアウトの工夫などを通じて、子どもの本や読書に対する関心を引き出すことの可能な空間とします。</li> <li>●会話や読み聞かせなどを可能とする一方で、静かに読書を楽しみたい子どものニーズにも配慮します。</li> <li>●子どもの視線やベビーカーでの利用などにも配慮します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●気軽な利用や快適な利用が可能な位置とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●明るさや開放性、安全性に配慮します。</li> <li>●子どもが本を取りやすい低層の書架を配置します。</li> <li>●表紙を見せた配架の可能な絵本書架も配置します。</li> <li>●利用者と車椅子・ベビーカー・ブックコートなどとのすれ違いが可能な書架間隔とします。</li> <li>●大人でも利用可能な机や椅子も配置します。</li> </ul>
	児童カウンター		<ul style="list-style-type: none"> <li>●主に子どもを対象とした利用案内や利用登録、予約、貸出・返却、レファレンスなどへの対応を想定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童開架ゾーン全体を見渡すことの可能な位置かつ利用者への圧迫感の少ない位置とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの利用に配慮した高さとし、職員の児童開架スペースへの円滑な移動が可能な形状とします。</li> <li>●付近に自動貸出機や検索用端末、必要に応じてコピー機を設置します。</li> </ul>	
	おはなしの部屋		<ul style="list-style-type: none"> <li>●おはなし会などの行事の開催のための空間とします。</li> <li>●その他の時間帯には親子での読み聞かせや読書での利用を想定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絵本書架や紙芝居書架に近接させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童開架スペースとは遮音性のある間仕切りで仕切れるようにします。</li> <li>●床に直接座ることができ、暗転や照度調整も可能な設えとします。</li> <li>●入口付近にはベビーカー置き場を設けます。</li> </ul>	
	子ども用トイレ・授乳室		<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童開架ゾーンを利用する乳幼児や親子の利用を想定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳幼児連れの利用のしやすさやプライバシー、安全性に配慮します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授乳室にはおむつ替えに利用可能な設備や衛生管理上必要な設備を設置します。</li> </ul>	
	開架	一般開架スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主に中高生以上の利用者が直接資料を手に取り、読書や調べものをするための空間とします。</li> <li>●資料の探しやすさに配慮し、滞在型の利用を含む多様な利用形態に対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新聞・雑誌コーナー、参考図書コーナーや郷土資料コーナーとの調和に配慮し、全体としてまとまった空間とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新刊図書や特集図書、課題解決支援図書などを配置するコーナーを設けます。</li> <li>●一般開架スペース全体の見通しの良さや収蔵冊数の両面に配慮し、書架を適切に配置します。</li> <li>●利用者と車椅子・ベビーカー・ブックコートなどとのすれ違いが可能な書架間隔とします。</li> <li>●キャレル席やテーブル席、ソファ席などを組み合わせて配置し、持ち込みのPCに利用可能な電源も確保します。</li> </ul>	
		サービスカウンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用案内や利用登録、予約、貸出・返却、インターネット・AVコーナーの利用管理、資料複写受付などへの対応を想定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般開架ゾーン全体を見渡すことのできる位置かつ利用者への圧迫感の少ない位置とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カウンター対応を行う職員の増減にも対応可能かつ一般開架スペースへの円滑な移動が可能な形状とします。</li> <li>●付近に自動貸出機や検索用端末、予約棚、コピー機を設置します。</li> </ul>	
		レファレンスカウンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者からの調べものの相談やリクエストへの対応を想定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参考図書コーナーに極力近接させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サービスカウンターと連続させる場合には、それぞれの機能の独立性に配慮します。</li> <li>●利用者が職員と1対1で利用可能で、着座での利用や車いすでの利用も可能な設えとします。</li> </ul>	
		新聞・雑誌コーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寛ぎながら新聞や雑誌を閲覧可能な空間とします。</li> <li>●当日の新聞や雑誌の最新号とバックナンバーを配架します。</li> <li>●雑誌コーナーの入り口付近にはファッションや音楽に関する雑誌を配架するなどして気軽な利用を促します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新聞コーナーの音の問題に配慮し、新聞コーナーと雑誌コーナーとを分散して配置することも検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雑誌の表紙を見せた配架が可能な書架や新聞を広げて閲覧可能なテーブルなどを設けます。</li> </ul>	
		ティーンズコーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中高生向けの資料や居場所を提供する空間とします。</li> <li>●中高生の居心地の良さを考慮し、他コーナーからやや独立した環境とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般・児童開架スペースなどとのつながりや個人・グループ学習室との関係を考慮した位置とします。</li> <li>●できるだけ人の目が行き届く配置とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複数人で利用可能なテーブル席などを設けます。</li> <li>●中高生のニーズの変化にもフレキシブルに対応ができ、中高生が快適に過ごせる空間の設えとします。</li> </ul>	

区分	部	ゾーン	室名	機能・用途	配置	仕様
			インターネットコーナー	●インターネット及びオンラインデータベースの閲覧が可能な空間とします。	●職員による座席管理や利用援助を考慮し、サービスカウンターに極力近接させます。	●デスクトップ型のPC端末のほか、必要に応じてプリンタなどを設置します。
			AVコーナー	●CDやDVDなどを個人や複数人で視聴できる空間とします。	●利用の際の音や光が他利用者へ影響を与えないよう配慮します。	●CDやDVDなどを視聴するための機器を設置します。
			企画展示コーナー	●常設または月替わりの特集などを展示可能な空間とします。 ●様々なテーマ設定で展示を行い、多世代の利用者への本に対する新たな興味や資料との出会いを創出します。	●利用者のだれもが目につきやすい位置かつ気軽に資料を見たり手に取ったりすることが可能な位置とします。	●書架のほか、パンフレットなどを配架可能な棚や、展示用の設備などを設けます。
			郷土資料コーナー	●郷土・行政資料やパンフレットなどを閲覧可能な空間とします。	●利用者の目につきやすく、参考図書コーナーと隣接し、インターネットコーナーやレファレンスカウンターとも極力近接させます。	●閲覧席のほか、パンフレットなどを配架可能な棚や、展示用のスペースなどを設けます。
			参考図書コーナー	●辞書や事典等を閲覧可能な空間とします。 ●主に調査研究目的の利用を想定します。	●郷土資料コーナーと隣接させ、インターネットコーナーやレファレンスカウンターとも極力近接させます。	●書架だけでなく閲覧席も適宜配置します。
			予約本受け取りコーナー	●予約された資料を配架し、予約者自らが受け取れる空間とします。	●図書館入口又はサービスカウンターに極力近接させます。	●コーナー入口に自動貸出機を設置します。
			読書支援室	●対面朗読など読書支援に利用可能な部屋とします。	●サービスカウンターに極力近接させます。	●内部の状況が確認可能かつ遮音性にも配慮した設えとします。
			静寂読書室	●静寂が保たれた読書可能な空間とします。	●一般開架スペース周辺又は音の影響を受けにくい位置とします。	●静寂性の確保が可能かつ内部の状況が把握可能な設えとします。
	集会・学習	学習室	●個人の研究・学習のための部屋とします。 ●席の両側に仕切りを設けるなど個人用席としての利用を基本とします。	●集約した配置を原則としますが、フロア構成等によっては複数配置することも検討します。	●静寂性の確保が可能かつ内部の状況が把握可能な設えとします。	
		学習個室	●個人の研究・学習のための個室とします。	●集約した配置を原則としますが、フロア構成等によっては複数配置することも検討します。	●静寂性の確保が可能かつ内部の状況が把握可能な設えとします。	
		グループ学習室	●複数人での所蔵資料を用いた学習に対応した部屋とします。 ●グループでの利用のない場合には個人学習室として開放します。	●集約した配置を原則としますが、フロア構成等によっては複数配置することも検討します。	●室内での活動の様子が他の利用者にも目に入るような設えとします。	
		多目的室 (視聴覚・講座・貸出用)	●大人数を対象とした講座やイベント、創作活動、映画会での利用を想定します。 ●講座やイベントなどで利用可能な部屋とします。	●利用者動線や音の問題に配慮します。	●室内での活動の様子が他の利用者にも目に入るような設えとする一方、音響設備や映像設備を備え、防音に配慮し、遮光可能な設えとします。 ●移動間仕切り等により人数に合わせて部屋の大きさを変えられるなど、スペースを有効利用できる設えとします。	
	休憩	飲食・休憩スペース	●会話しながら、飲食や休憩ができる空間とします。 ●飲み物のほか軽食を提供することも検討します。	●会話などの音や緑の景観などにも配慮した適切な配置とします。	●テーブルや椅子など、子どもから大人まで、様々な利用者が使いやすいものを配置します。	
	管理	事務・管理	事務作業室	●事務作業のための空間とします。 ●自動返却機と一体となった返却資料の処理スペースを設けます。	●事務スペースは、サービスカウンターや閉架書庫などとの動線を考慮した位置とします。 ●作業用スペースは、事務スペースに隣接し、資料搬入動線にも配慮した位置に設けます。 ●集約した配置を原則とします。	●必要職員数に対応した規模とします。
ブックポスト室			●ブックポストに返却される資料を集積できる空間とします。	●図書館入口など、利用者が資料を返却しやすい場所にブックポストとともに配置します。	●返却された資料を円滑に運び出しできる設えとします。	
会議室			●職員による会議の開催を主な用途としますが、ボランティア（サポーター）などによる利用も想定します。	●事務作業室やボランティア室に近接させます。	●少人数から15人程度までの会議に対応可能なテーブルや椅子を備えるものとします。	
ボランティア室			●図書館の運営を支援するボランティア（サポーター）の活動拠点とします。	●一般利用エリアとは分けて配置します。	●ボランティア団体等が利用可能なロッカーや作品収納スペースなどを設けます。	
休憩室・更衣室等			●更衣室や休憩室、給湯室など、運用上必要となる諸室を設けます。 ●職員の食事などのほか、施設の清掃・管理スタッフの休憩、急病人の保護での利用も想定します。	●事務作業室に近接させることを基本としますが、階層構成等によっては分散配置も検討します。	●更衣室は男女別の2室とします。	
倉庫・車庫		●館の運営や管理に必要な備品、物品等を保管する空間とします。 ●公用車両の保管のための空間とします。	●車庫は、車両動線と利用者の歩行動線が交錯しない位置かつ、効率的な業務が可能な位置とします。	●車庫は、天候に左右されずに積み込みなどが可能な設えとします。		
保存	閉架書庫	●収蔵冊数20万冊程度の閉架書庫を設けます。	●事務作業室やサービスカウンターとの動線を考慮した位置とします。	●電動もしくは手動の集密書架を採用するものとし、資料の保存に適した空調・照明計画とします。		

表4-3 必要諸室及び必要面積

区分	部門	ゾーン	室名	摘要	面積 (㎡)				
					ゾーン	部門	区分		
利用者	導入	エントランス	風除室		120	120	2,700		
			ロビー, 情報コーナー						
	開架	児童開架		児童開架スペース	約63千冊, 110冊/㎡程度	645		2,145	
				児童カウンター					
				おはなしの部屋					
				子ども用トイレ					
				授乳室					
		一般開架			一般開架スペース	約117千冊, 90冊/㎡程度			1,500
					企画展示コーナー				
					ティーンズコーナー				
					郷土資料コーナー				
					参考図書コーナ				
					サービスカウンター				
					レファレンスカウンター				
					新聞・雑誌コーナー				
インターネットコーナー	4席程度								
AVコーナー	視聴ブースを含む								
予約本受け取りコーナー									
読書支援室									
静寂読書室									
集会・学習			学習室	75人程度	335	335			
			学習個室	5室程度					
			グループ学習室	20人程度					
			多目的室 (視聴覚室・講座・貸出用)	65人程度					
休憩			飲食・休憩スペース		100	100			
管理	事務管理		事務作業室	事務室 + 作業スペース	460	460			
			ブックポスト室						
			会議室						
			ボランティア室						
			スタッフ休憩室						
			用務員休憩室						
			更衣室						
			倉庫						
			車庫						
			保存					閉架書庫	220千冊
共用			階段・廊下・E.V・機械室・トイレ (多目的トイレを含む) 等	20%	900	900	900		
合計							4,500		

※利用者用座席は館内全体 (区分「管理」を除く) で450席 (部門「集会・学習」における席数も含む) 程度を目標とする。

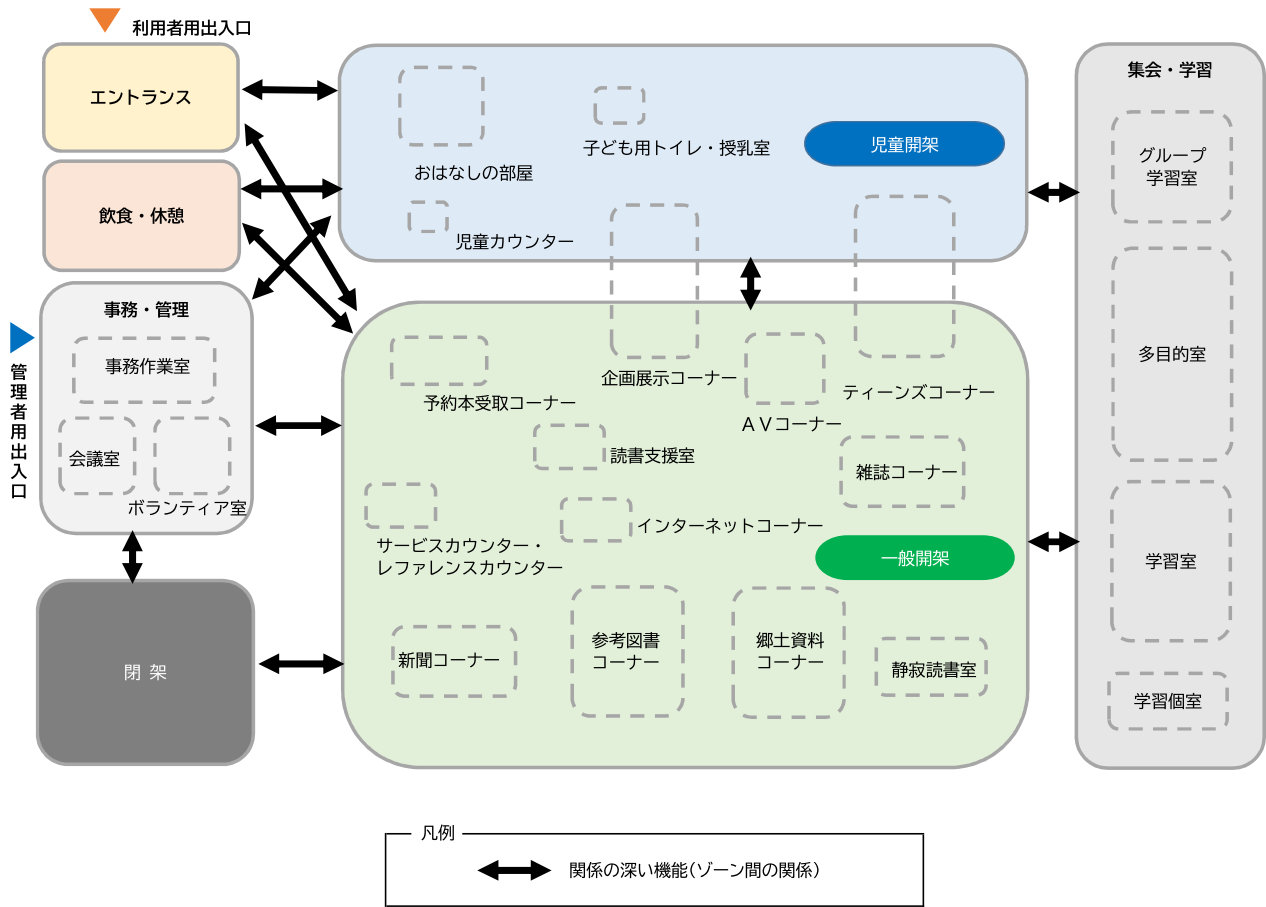


図 4-1 機能相関図

※機能相関図はゾーンの機能面での関係性を示すものであり、具体的な配置を示すものではありません。